

### 第3章 遺 物

泉 拓良 家根祥多 森本 晋 玉田芳英

調査で出土した遺物は整理箱に54箱分である。そのうち、11箱分は平安時代以降の遺物であって、そのすべてが黄色砂(第9層)より上層から出土した。平安時代以降の遺物については、すでに『京都大学構内遺跡調査研究年報 昭和54年度』において報告したので、ここでは残りの43箱分の縄文時代と弥生時代の遺物について述べる。

#### 1 土 器

黄色砂の下では、弥生土器は暗灰色砂質土(第11層)から畿内第Ⅰ様式新段階の壺が1点出土しただけで(図37-363)、残りはすべて縄文土器であった。縄文土器は晩期の一群と中期～後期初頭の一群とに大別でき、それらは主として出土する層位に違いがあった。とくに、晩期の土器は層位による区別が可能であるので、層位を中心に分類したが、その他の土器は層位による細分は不可能であったので、従来の時期区分・型式に従って分類・図示することにした。なお、それぞれの土器が出土した地点と層位は表6にまとめた。

縄文前期大歳山式(図版8・図14) 出土したのは3点である(土器番号1～3、以下土器番号は省略する)。3点ともRLの縄文地に幅約5mmの凸帯を貼付け、凸帯上をΣ状に先端を加工した半截竹管状工具で押引いている。内面の調整は丁寧な撫で、この点でも北白川下層3式と分離できる。層位の上では中期の土器と区別できなかった。

縄文中期鷹島式(図版8・図14) 同一個体と思われる2点だけである(4・5)。赤褐色の色調で、胎土に砂粒を多く含む。節の中のしわが不明瞭な特殊な縄文を地文とし、幅15mmの幅広C字爪形文を密に施す。凸帯を貼付けずにC字爪形文を施す点、爪形文の幅が広いことなど船元Ⅰ式に通じる特徴ももつが、縄文は鷹島式独特のものである。

縄文中期船元Ⅱ式(図版8・図14) 1点だけが出土した(6)。撚りの粗いLRの縄文地に凸帯を貼付け、筥状工具で刻んでいる。口縁上端も刻んでいる。

縄文中期中葉型式不明土器(図版8・図14) キャリバー形をなす深鉢の口縁部(7)。口縁下に凸帯で長方形区画を作り、凸帯の上下をC字爪形文で飾る。C字爪形文列で口縁下にも曲線的文様を描くが、その意匠は不明である。凸帯での長方形区画は近畿地方以西では、船元Ⅱ式に数例知られているだけであり、東海地方系の土器であろう。

縄文中期船元Ⅲ式（図版 8・図14） 縄文地に半截竹管内側面で平行沈線を描く土器のうち、地の縄文が通常の単節縄文である土器（8～15）。凸帯上およびその周囲に多条に平行沈線を施す船元Ⅲ式A類だけが出土している。口縁内面を肥厚させて内側に面取りする手法は、船元Ⅳ式につながるものである。文様は直線的な幾何学文が主体となる。縄文はRLの縦走行の縄文で、平行沈線間の幅は約4mmをはかる。

縄文中期船元Ⅳ式（図版 8・図14） 縄文の条が交互に深淺となる縄巻縄文を地に施した土器（16～29）。文様は半截竹管内側面による平行沈線で弧状文を描き、口縁部文様帯最上部、および頸部無文帯の上・下に波状文を施す（16・18～23）。半截竹管による平行沈線間の幅は3～5mmで、4mmのものが多く、船元Ⅲ式のそれと類似する。

縄文中期里木Ⅱ式（図版 8・図14） 撚糸文（棒巻縄文）を地文とし、その上に半截竹管による平行沈線文で弧状文を施す土器（30～37）。撚糸文は1段Lの撚紐を棒に巻きつけたのである。文様意匠は船元Ⅳ式と大きな変化はないが、半截竹管による平行沈線間の幅は3mmと狭いものが主体となり、船元Ⅳ式と区別できる。また、本遺跡出土の船元Ⅳ式、里木Ⅱ式の弧状文は、瀬戸内地方と同様に3条（6本）以上重ねて施したものが多く、2条を主とする中部・東海地方と微細な点で変化を認めることができる。

縄文中期末・後期初頭未命名型式土器群（図版 9～15, 図15～34） 本遺跡の主体をなす土器群で、黒色土1・2層（第37～41層）から単純に出土したが、斜面堆積物という性格から晩期の包含層にも混入していた。この群の土器は3～4型式にわたる資料を含むが、層位の上では区別できず、中期末・後期初頭の一群として一括した。しかし、確実に後期初頭すわち中津式と断定しうる資料はなく、そのほとんどが中期に属することは間違いない。以下、器形を主として分類した器種にもとづき土器を説明する。

深鉢A類（図版 9・10, 図15～19） 口縁下にすぐ口縁部文様帯のくる、水平口縁もしくは主文様部が波状を呈する深鉢を一括した。口縁部と胴部とを区分する手法によって、1～4類に細分し、さらに口縁部と胴部との区分が不明瞭な土器を5類、口縁部文様帯が退化したものを6類として加えた。

深鉢A1類は口縁部と胴部とを隆帯で区分する土器で、器壁もその部分でかすかに内折して口縁部が立つ（38～40, 42～72）。文様帯の構成では、頸部無文帯をもつものは55だけであり、ほかは口縁部文様帯下に直接胴部文様がつく。ただし、42・46は器形上の区分では胴部に含むべきところに、口縁部と同様の文様がもう1段施されており、文様帯の構成は他と異なっている。また、38の口縁部文様帯下にくる横位短直線多重文は後述のA4類の

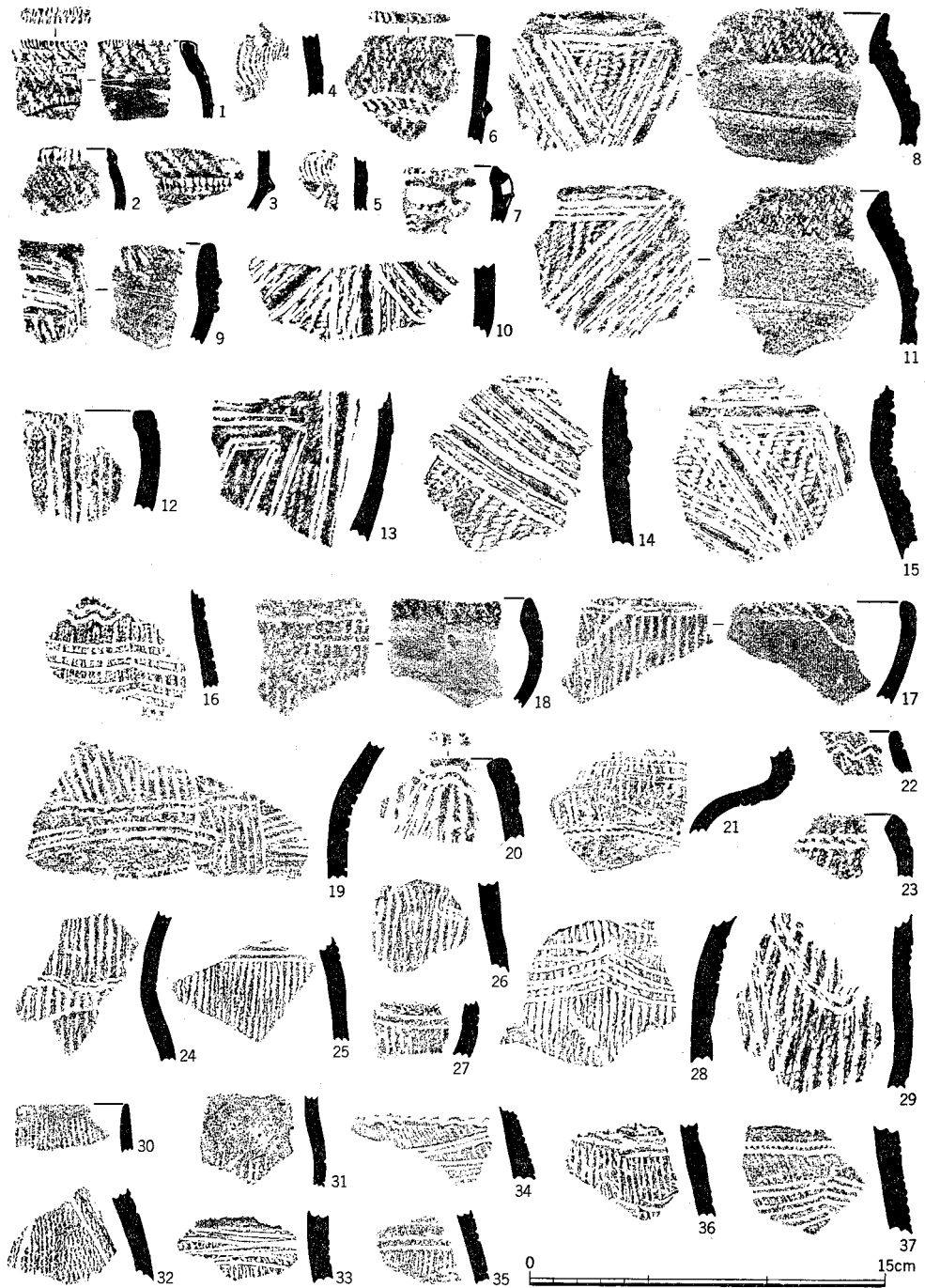


図14 縄文前・中期の土器(1～3大歳山式, 4・5鷹島式, 6船元Ⅱ式, 7型式不明,  
8～15船元Ⅲ式, 16～29船元Ⅳ式, 30～37里木Ⅱ式)

分帯波状文と関係する資料である。口縁部の文様で、深鉢A1類はa～fに細分できる。

A1類aは凸帯で渦巻区画文を描く土器で、これに属するのは頸部無文帯のある55だけである。A1類bは隆帯と沈線とで渦巻区画文を描く土器(38・43・58)。A1類cは口縁部と胴部とを区分する隆帯が、主文様の円形区画文を囲む土器(42・44～51)。つなぎの文様は楕円形区画文で

縄文を充填することが多い。A1類dは主文様が渦巻文で、そのまわりを隆帯がかこむ土器(39・52

・53・56・59～63・69)である。つなぎの文様の区画内には「ハ」字形の筆順による横位羽状沈線文を施すことが多い。

A1類eはA1類bないしはA1類cの主文様が省略されたもので、口縁部と胴部とを区分する隆帯が「ノ」字状に口縁に取り付いた土器(64～67)。幅の狭い楕円形区画の中に、羽状沈線文の退化ともみえる、3列の刺突文列を充填した土器(65)と、口縁部を無文にした土器(66・

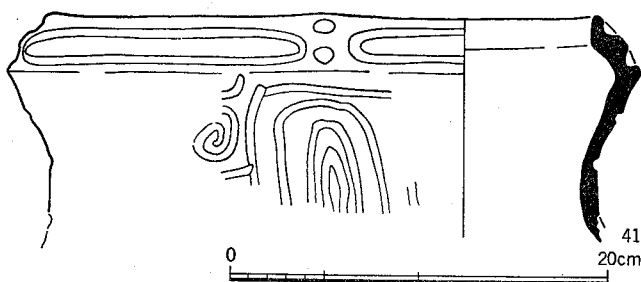
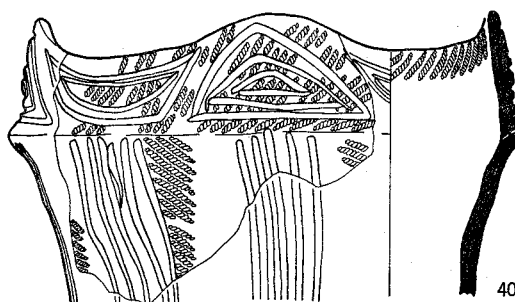
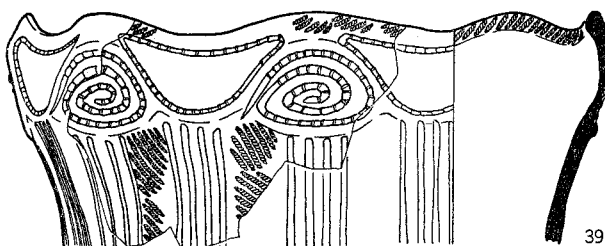
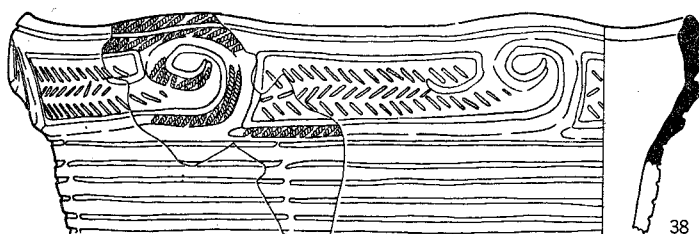


図15 縄文中・後期の土器(1) (38～40深鉢A1類, 41深鉢A3類)



図16 縄文中・後期の土器(2) (42~58深鉢A 1類)



図17 縄文中・後期の土器(3) (59~72深鉢A 1類, 73~76深鉢A 2類)

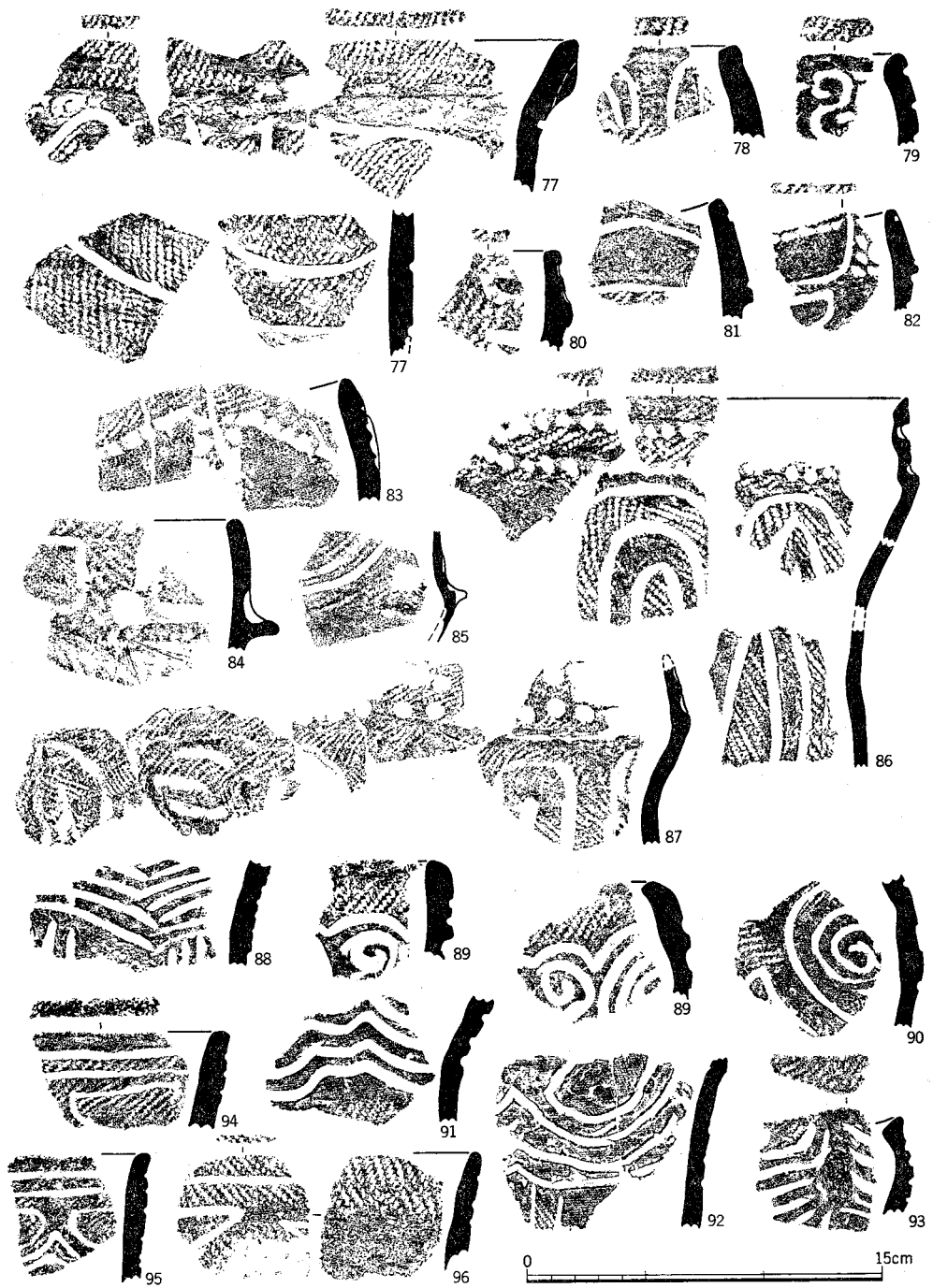


図18 縄文中・後期の土器(4) (77~85深鉢A 2類, 86・87深鉢A 3類, 88~96深鉢A 4類)

67) とにわかれる。この類に含ませるべきか迷うものに64がある。胴上部にも口縁部と同様の文様がもう1帯くる可能性があること、口縁部文様の区画内羽状沈線が「ハ」字形であることなど、A1類cやdと類似しており、それにつながる資料であろう。A1類fはa～eとは違って隆帯を口縁部と胴部との区分にだけ用いる土器で、口縁部文様が渦巻文と区画文によって構成するもの(40・54・57)、短直線だけで表わすもの(70～72)がある。なお、A1類の胴部は判明しているかぎり、すべて3本から6本の垂下沈線を主文様の下およびつなぎ文様の中央下に施し、そのあいだに縄文を縦に転がしている。

A2類はA1類と同様の器形をなすが、口縁部と胴部とがより直線的につながる土器で、口縁部の幅がA1類より狭く、口縁部と胴部との境を外へ肥厚させる(73～83)。細く高い凸帯で区画する84・85もこの類に含めたが、資料が増加すれば独立させるべきものである。口縁部文様は、楕円形区画文(A2類a 73～75・81～83)や曲線文(A2類b 76・78～80、無文(A2類c 77)が主で、凸帯が主文様部と係わることはない。胴部文様は垂下沈線文になりそうな例もあるが(76)、曲線文(75・77・82)や無文(73・74)が主である。

A3類は口縁部と胴部との境が屈曲する深鉢である(41・86・87)。口縁部文様は、A1類の主文様に相当する上下2段の指頭瓦痕文(41)や円形区画文?(87)と、つなぎ文様である楕円形区画文からなる。86・87は口縁部に限って沈線内刺突沈線を用いている。胴部には渦巻文や多重沈線による楕円文を施す。さらに一部の文様は磨消縄文(充填)を呈している(86)。この土器群は器壁が4～5mmと薄く、乾燥が十分でないうちに強く施文したためか、文様が器壁内面にまで押し出されている。A1・2類とは系譜を異にする。

A4類は口縁部と胴部とを多重沈線による連弧文で区分する土器である(88～96)。おそらくこの類には2系統があり、星田式系のものは胴部に垂下沈線を施すことがなく、東海系のものは胴部に垂下沈線がくる(88・92)。口縁部には横位の双頭渦巻文や区画文を配するが、凸帯を垂下させその両側に連弧文を施す土器(93)も特徴的である。

A5類は口縁部と胴部とが文様帯の相異だけで区分される土器(97～107)。口縁部文様は、横位の羽状沈線文や刺突文を充填した区画文、刺突文だけ、2本の直線文に退化したものなどがある。区画文の土器は器壁が薄く、胎土も緻密で、小型の器形になる。

A6類は口縁部文様帯を消失した土器(108～127)。磨消縄文の土器と沈線文土器とにわかれる。縄文はRLが3分の1ほどあり、他の類と異なり、一部は後期初頭の中津式に含めるべきかもしれない。109の縄文はRL, R, R, の3本の縄の束による縄文で、磨消縄文に用いた例としては初見である。

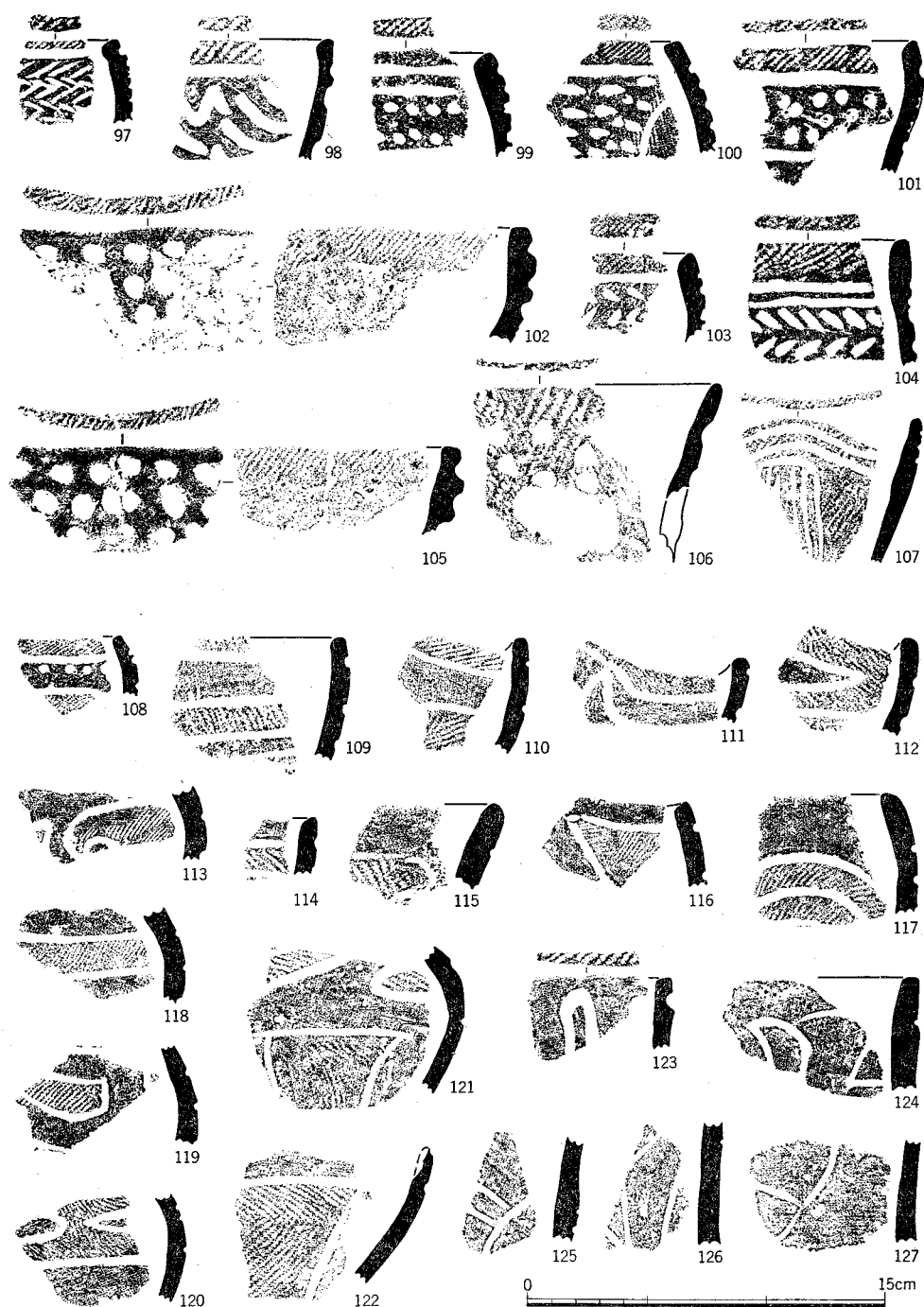


図19 縄文中・後期の土器(5) (97~107深鉢A 5類, 108~127深鉢A 6類)

深鉢B類（図版11，図20～22） 口縁部から1段下ったところに隆帯で楕円形区画文を横につらねた文様を施す土器。この類のほとんどは口縁部下が無文になるか、縄文だけを施す土器であるが、A類の口縁部文様と同様の文様を施す土器もある(132～135)。胴部の文様はほとんどすべてが3～5本の垂下沈線束と沈線束間の縦位施文縄文であり、この文様構成を取らない可能性のあるものは、158・159だけである。また147は縄文が細線羽状文に置換されている。B類は特徴的な楕円形区画文のつなぎ部の違いから、B1類とB2類に大別できる。161はいずれの定義にも合致しないが、一応B2類とする。

B1類は楕円形区画文のつなぎ部が橋状把手となる土器である(128～130・132～148)。凸帯を楕円形にめぐらし、さらにその内側に沈線を楕円形にめぐらす。区画内の文様でaとbに細分できる。B1類aは区画内の羽状沈線を「ハ」を書く筆順もしくはその逆で描いている土器(128・129・132～134・137～144・147)。B1類bは区画内羽状沈線を「く」を書く筆順で描く土器(135・136・145)と2列刺突文の土器(146)とである。

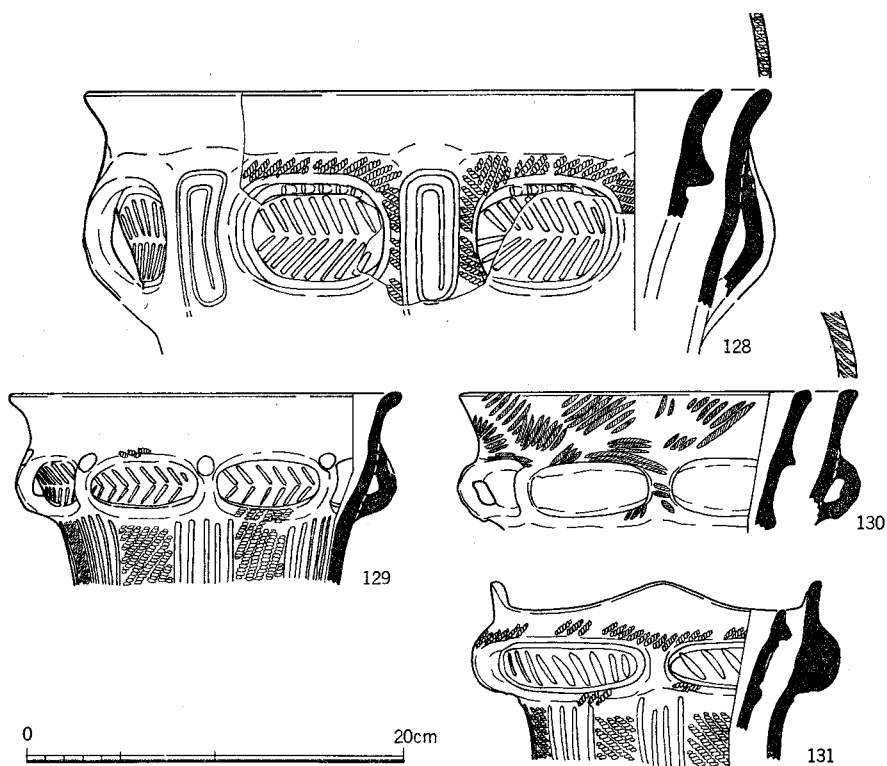


図20 縄文中・後期の土器(6) (128～130 深鉢B1類, 131 深鉢B2類)



図21 縄文中・後期の土器(7) (132～143深鉢B 1類)

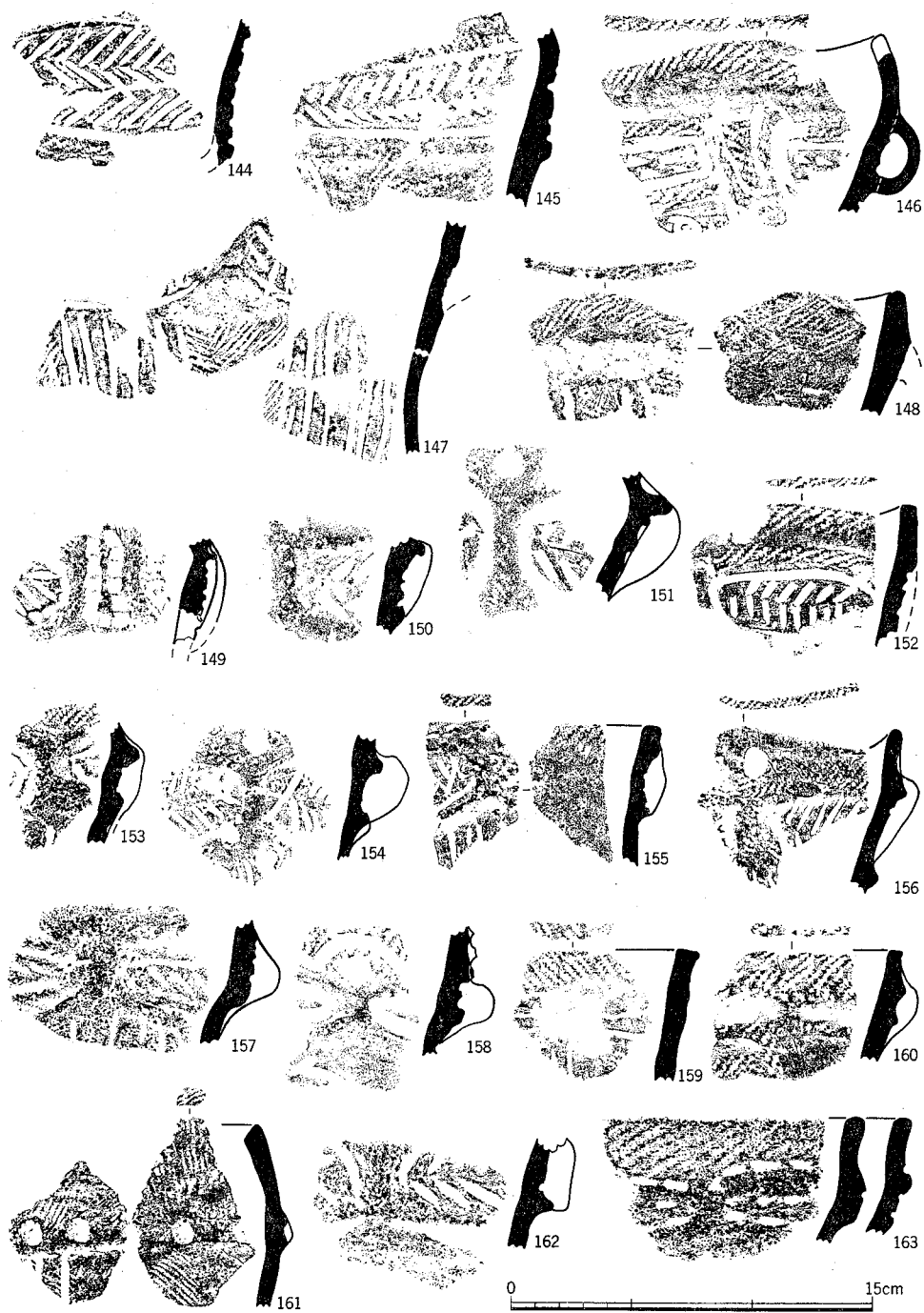


図22 縄文中・後期の土器(8) (144～148深鉢B 1類, 149～163深鉢B 2類)

B 2 類は楕円形区画のつなぎ部が突起となる土器である(149~163)。B 1 類の文様要素が個々の土器でばらばらになる。149はこの類に含めたがB 1 類aの橋状把手部がたまたま器面についてしまった土器と考えたほうが良い。B 2 類もa~fに細分ができる。B 2 類aはB 1 類と同様の文様をもつ土器(149~152)。B 2 類bは沈線区画内に短直線文を充填させた土器(131・157)。B 2 類cは、B 2 類aの沈線区画が省略された土器(154~156・162)。B 2 類dは区画沈線だけが残った土器(153・158・159・163)。B 2 類eは凸帯による楕円形区画(160)、B 2 類fは凸帯だけ(161)の土器である。

深鉢C類(図版12, 図23~25) 4~6個の突起状山形口縁をもつ、胴がきつくくびれた深鉢(164~199)。胴部文様は山形頂部下に渦巻文や円形区画文を配することが多いが、それ以下の文様は今回の資料ではわからない。口縁部の文様から3類に細分した。

C 1 類は口縁部文様が楕円形区画文を基調とした文様の土器(165~185)。文様の違いでa~cに細分できる。C 1 類aは口縁部文様が隆帯のからむ渦巻区画文となる土器と2本の刻目凸帯で文様を構成する土器(179・180)。C 1 類bは区画区間を隆帯で区切る土器(182)。C 1 類cは上記以外の楕円形区画文の土器であるが、区画内に「く」字形筆順羽状沈線(185)や刺突文(184)を充填した土器もある。

C 2 類は口縁部に1本沈線を施す土器(186~192)。文様や技法からa・bに細分できる。C 2 類aは渦巻区画文の変形と思われる文様の土器で、2点あるが同一個体の可能性が高い(186・189)。C 2 類bその他の土器で、山形口縁下の文様が区画文の土器(188・190・191)と渦巻文の土器(192)とがある。192は器壁、胎土がA 3 類と同じである。

C 3 類は口縁部の文様が省略された土器(193・194・196)と、胴部には口縁部文様が移動した土器(164・195・197~199)である。胴くびれ部上部の波状文が他類より目立つ。

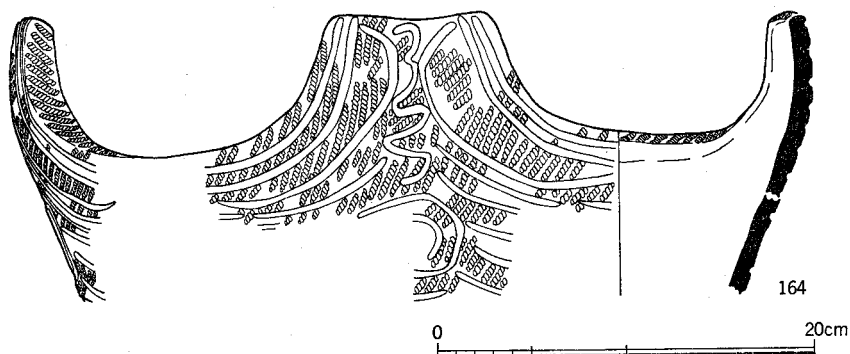


図23 縄文中・後期の土器(9) (164深鉢C 3類)



図24 縄文中・後期の土器(Ⅱ) (165~182深鉢CⅠ類)



図25 縄文中・後期の土器(1) (183~185深鉢C 1類, 186~192深鉢C 2類, 193~199深鉢C 3類)



図26 縄文中・後期の土器(2) (200~217深鉢胴部)



図27 縄文中・後期の土器(3) (218~241深鉢胴部)

深鉢A・B・C類の胴部(図版15, 図26・27) 垂下沈線のある破片(200~217)と, 曲線的な文様のある破片(218~237), 特徴ある縦走向縄文のある破片(238・239), 他地方の文様の特徴を示す破片(240・241)とにわかれる。垂下沈線のある破片と曲線的な文様のある破片の比率は, 出土量の多かったc 5 I・II区, c 4 IV区で, 3対1であった。

垂下沈線を施した土器は, そのほとんどが沈線束間に縄文を縦方向に転がしており, その撚りはごく少数(212)を除き, LRである。ほかに, 垂下沈線束が磨消縄文帯となった土器(205), 沈線束を櫛描細線で描いた土器(211), 縄文の替りに櫛描細線文を用いた土器(216), 縄文を縦に転がしただけのA 4類星田式系の胴部(214・215)などがある。

曲線文を施した土器は, 変形区画文(218), 同心円文や渦巻文(219~227・233~237)が主である。この種の土器は概して器壁が薄く, 233~237はとくに薄い。

240は中部・北陸地方西部の葉脈状文深鉢胴部であろう。隆帯が垂下し, その間に羽状沈線を施す土器で, この種の土器としては古相を示す。241は隆帯で曲線的な文様を描き縄文を充填する大木10式系の土器。胎土は細かな砂粒に富み, 他の土器と異なる。

深鉢D類(図版15, 図28・29) 縄文だけで器面を飾る土器を一括した(242~261)。こ

の類の土器は口縁上端ないし内面にも縄文を施すことを原則としている。器形の違いから, 2類に分類した。

D 1類は直口ないしやや外反した口縁の土器で, 縄文を不定方向に施すものが多い(242・243・251~261)。

D 2類は口縁部が肥厚する土器で, 全面に横位施文の縄文を有する土器

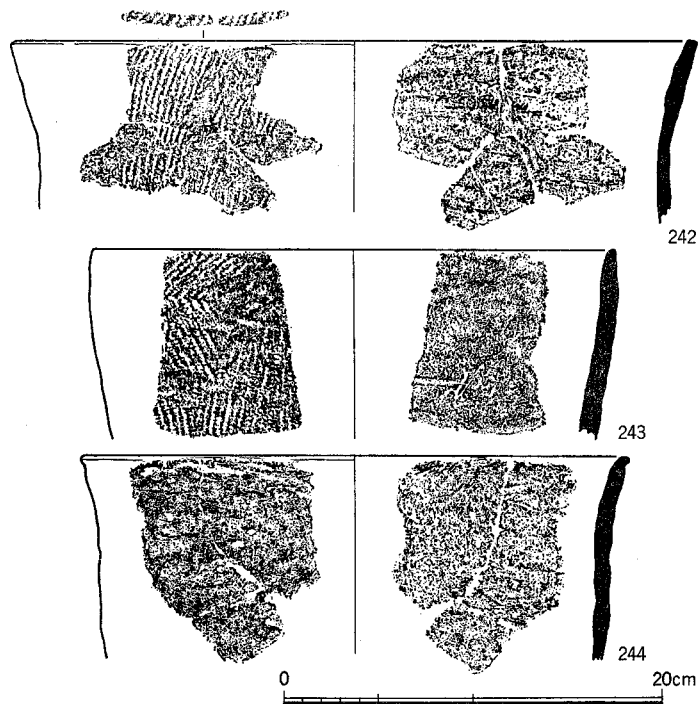


図28 縄文中・後期の土器(14) (242・243深鉢D類, 244深鉢F類)

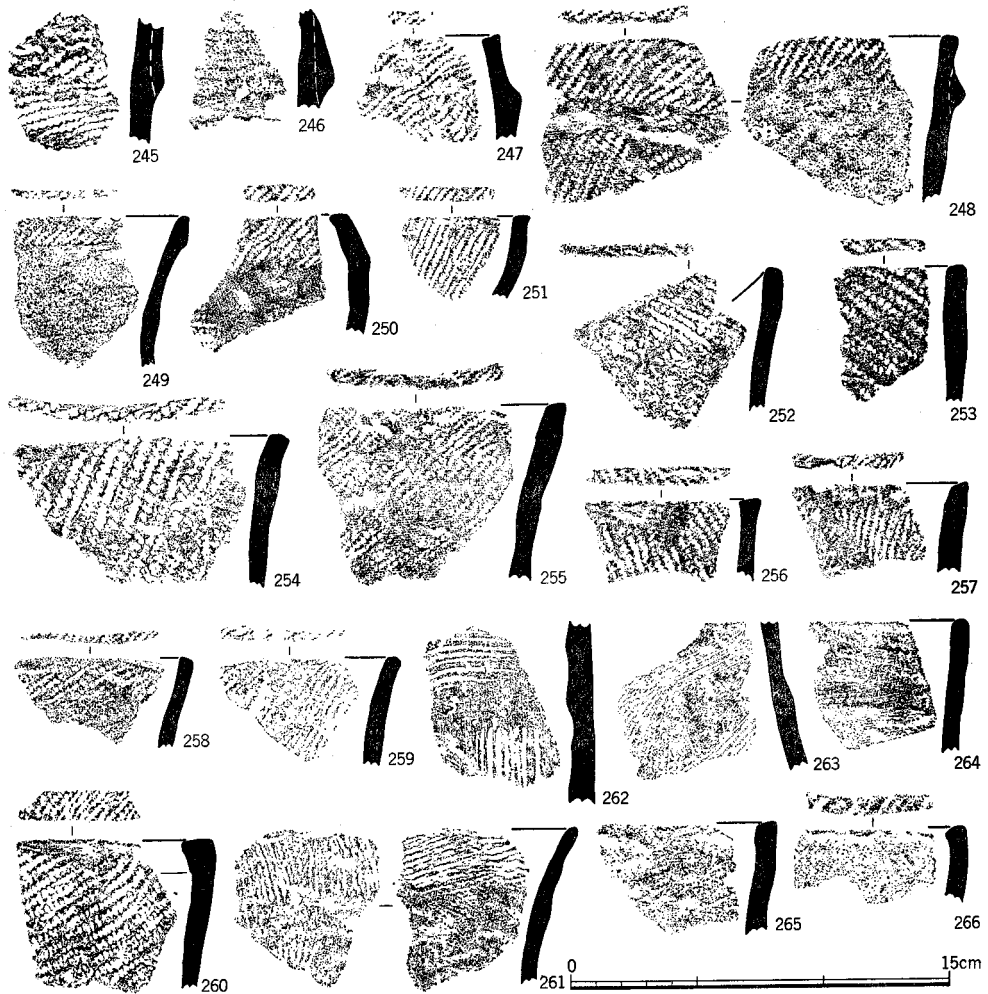


図29 縄文中・後期の土器(15) (245～250深鉢D 2類, 251～261深鉢D 1類,  
262・263深鉢E類, 264～266深鉢F類)

(245・247・248) や、口縁部に横位縄文、胴部に縦位縄文を施す土器(249・250)、口縁部に巻貝による擬縄文を施した土器(246) などがある。縄文はLRがほとんどである。撚糸文の261は里木Ⅱ式に遡り、擬縄文の246は後期に下と思われる。

**深鉢E類** (図版15, 図29) 櫛描条線だけで器面を飾る土器(262・263)。口縁部片がないため、全体の器形や文様構成はわからない。

**深鉢F類** (図版15, 図29) 無文の土器(244・264～266)。器面調整は粗い撫でで、器面の凹凸が著しい。口縁を面取りし、そこに縄文を施す土器もある。

浅鉢A類 (図版13・14, 図30・32・33) 浅鉢は深鉢と比べて胎土がよく, 器面の調整も丁寧である。A類は「く」字形に内折した口縁部の有文浅鉢(267~272・279~305)。

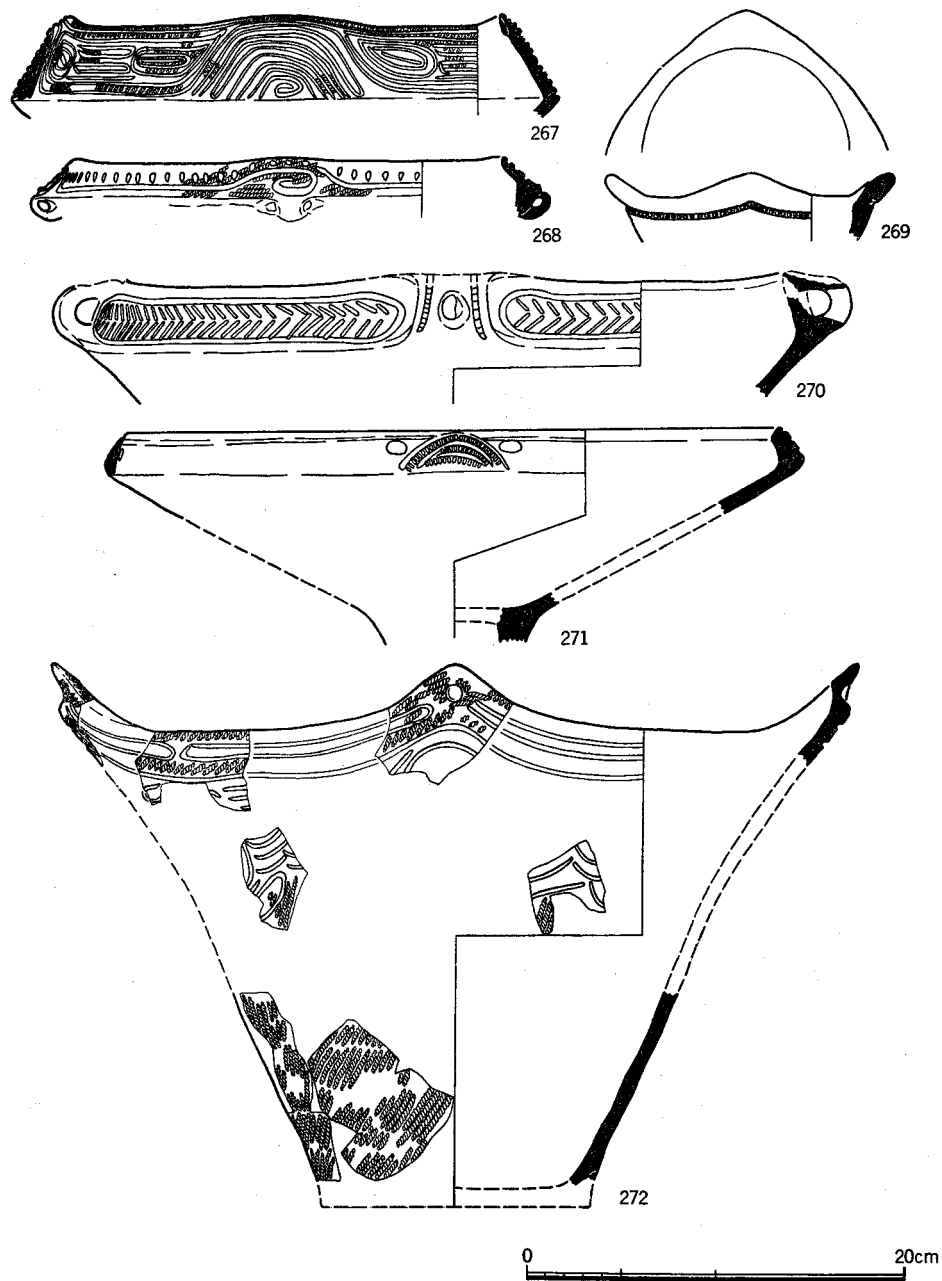


図30 縄文中・後期の土器Ⅱ (267浅鉢A 1類, 268・269・271浅鉢A 4類, 270・272浅鉢A 2類)

口縁部文様の違いから4類に細分した。

浅鉢A1類は多条の沈線で口縁部文様を描く土器(267・279~289)。文様意匠は主文様部に渦巻文や多重三角形文を配し、それを多重の楕円形区画文でつなぐことが多い。主文様部の口縁は波状を呈する。主文様部を隆帯で囲む土器をA1類a(267・281), その他をA1類bとすると、A1類aのつなぎ部の区画文内の文様は、渦巻文と区画文とからなり、A1類bの多重楕円形区画文とニュアンスを異にすることに気づく。A2類は、つなぎ部の文様が1・2条の区画沈線で、主文様部に渦巻文、つなぎ部に楕円形区画文を描く土器(270・272・290~296)。A1類と同様、主文様を隆帯で囲む土器をA2類a(270・291~293・295・296), 隆帯が消失した土器をA2類b(290・294), 口縁部の幅が狭くなった土器をA2類c(272)とする。A2類aは、楕円形区画内に「ハ」字形筆順の羽状沈線文を充填した土器が多い。A3類はつなぎ部の文様に刺突文を用いる土器(297~303)。口縁部の幅が広く、主文様部を隆帯で囲む土器をA3類a(299), 隆帯のみられない土器をA3類b(297・298), 薄手で文様に萎縮のみられるA3類c(300~303)とに区分した。

A4類は、A1~A3類に含まれない浅鉢A類を一括した(268・269・271・304・305)。

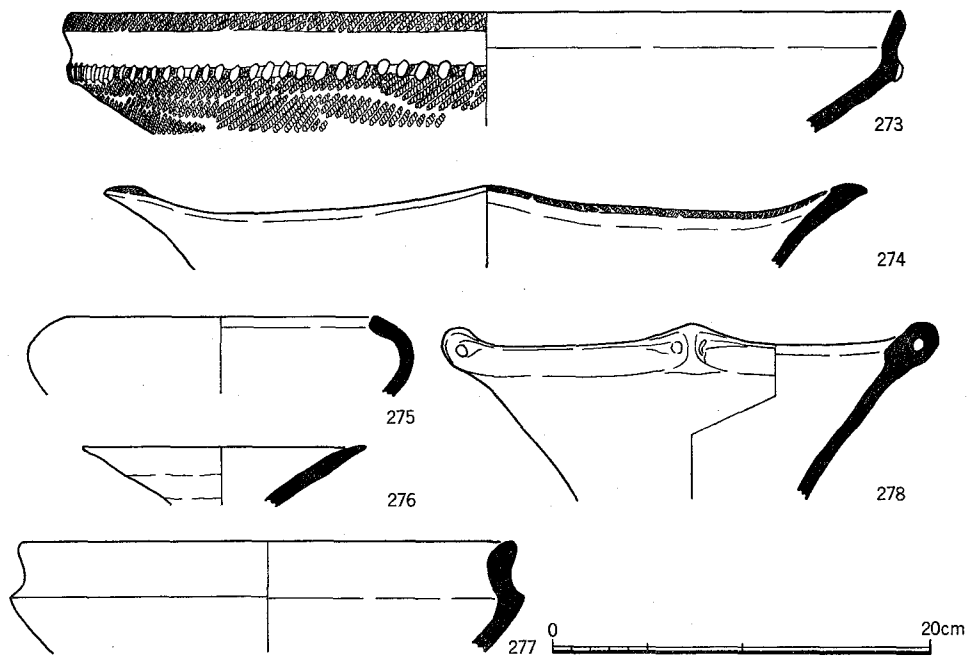


図31 縄文中・後期の土器Ⅱ (273・277浅鉢B1類, 274浅鉢C2類, 275壺, 276浅鉢D類, 278浅鉢B2類)

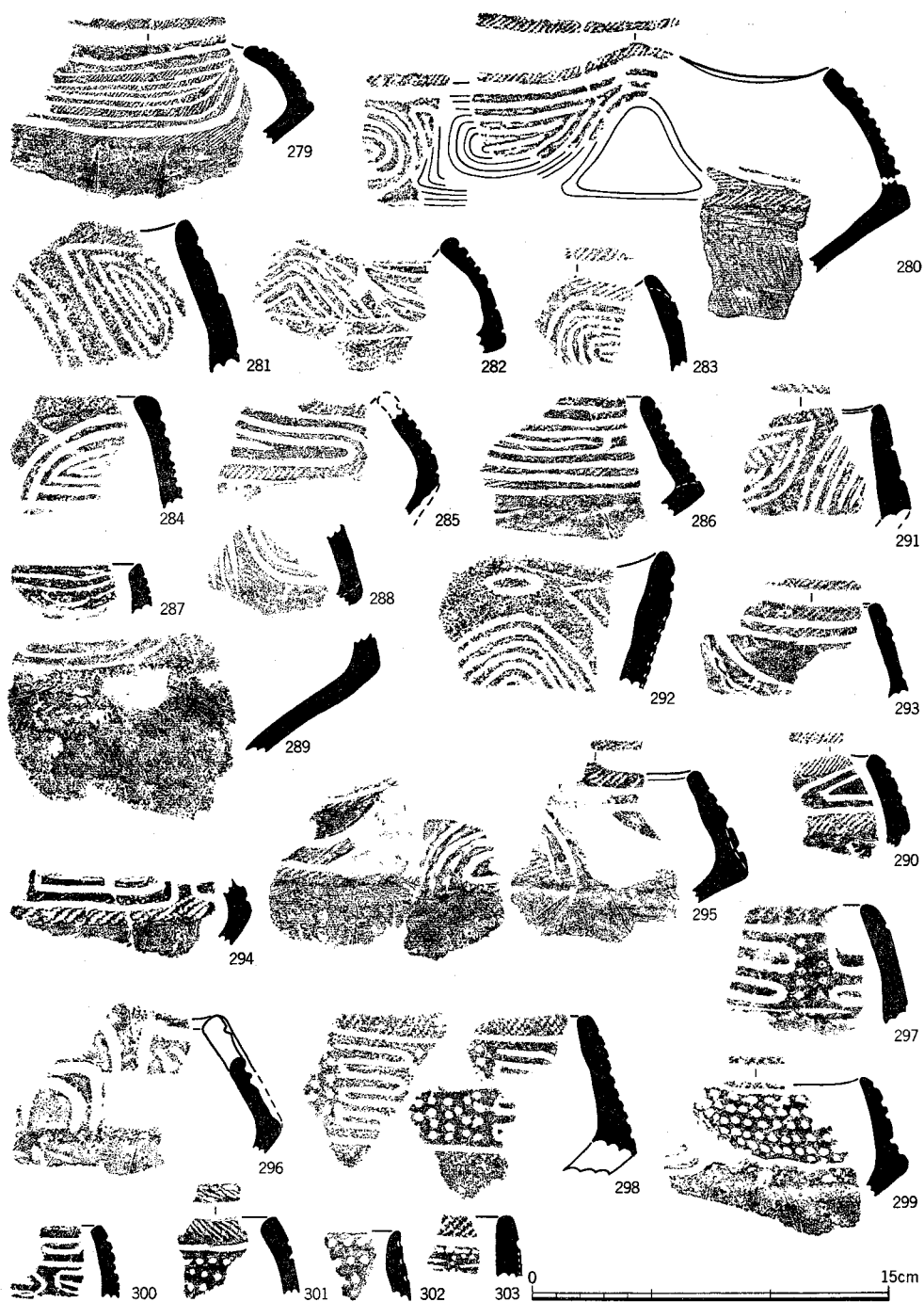


図32 縄文中・後期の土器(10) (279~289浅鉢A 1類, 290~296浅鉢A 2類, 297~303浅鉢A 3類)

271は沈線間を篋で刻む文様の土器であるが、胎土は241と類似し、地の土器でない。  
268は口縁部の渦巻文下に橋状把手を配す土器。304・305は押引き沈線文が特徴である。

浅鉢B類（図版13・14，図31・33） 口縁部が「く」字形に内折した，無文で研磨の著しい土器（273・277・278・306～310）。口縁部の幅で2類に細分した。

B 1類は口縁部の幅が広く，口縁と屈曲部が肥厚する土器（273・277）。B 2類は幅の狭い口縁部の上下が凸帯状に肥厚し，数ヶ所に橋状把手状の突起がつく（278・306～310）。突起を横方向に穿孔して橋状把手状にした土器（278・307・308）と，突起のままである土器（310）とにわけられる。

浅鉢C類（図版13・14，図31・33） 外反する口縁の浅鉢で，口縁内面に文様帯を有する土器（274・311～317）。C 1類は内面に沈線文を施す土器（311）。C 2類は肥厚した内

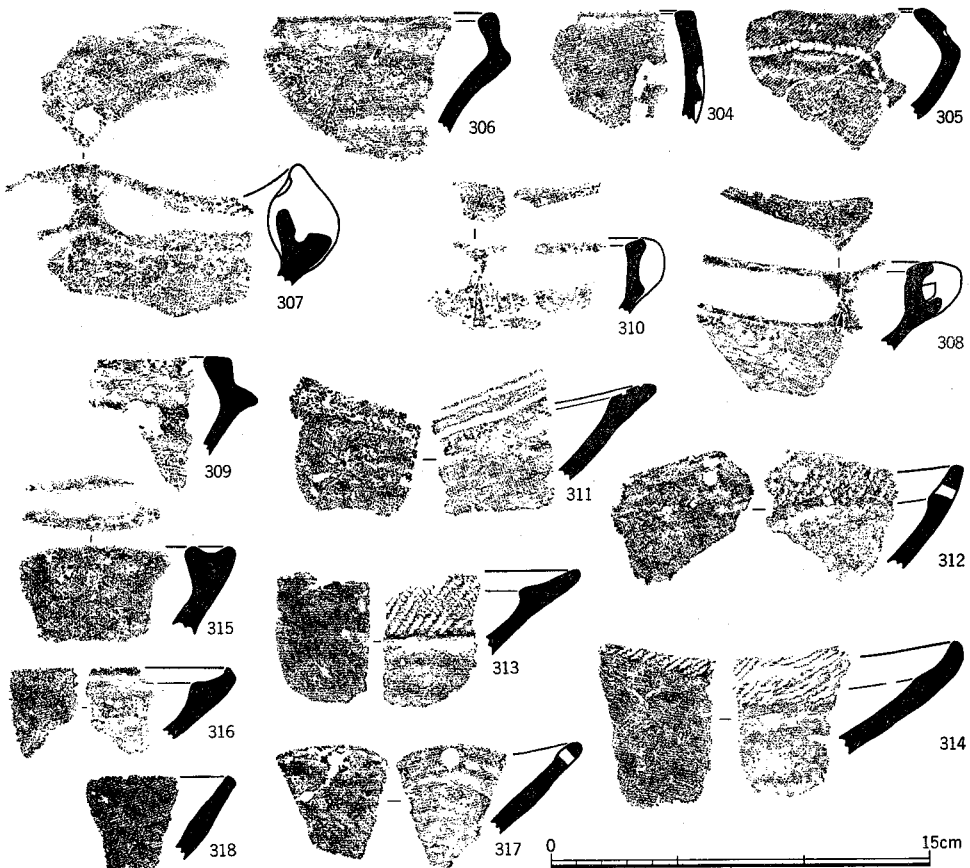


図33 縄文中・後期の土器(19) (304・305浅鉢A 4類，306～310浅鉢B 2類，311浅鉢C 1類，312～314浅鉢C 2類，315～317浅鉢C 3類，318浅鉢D類)

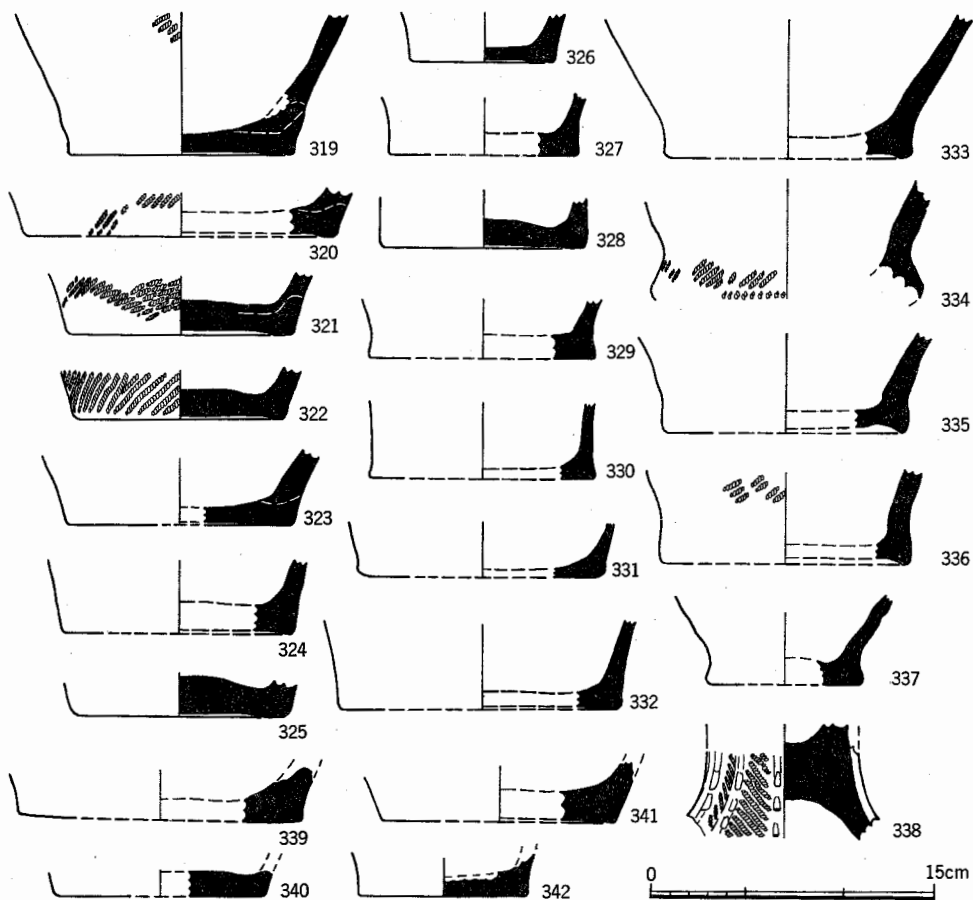


図34 縄文中・後期の土器 20 (319~342底部)

面に縄文を施す土器 (274・312~314)。C 3 類は内面肥厚帯が無文の土器 (315~317)。

浅鉢D類 (図版13, 図31・33) 無文の浅鉢で、皿形を呈する土器 (276・318)。

壺 (図版13, 図31) 無文・無頸の壺 (275) の 1 例だけである。

器種不明土器 (図版15) 343は隆帯で渦巻区画文を描き、つなぎ部が橋状把手となる土器で、羽状沈線文を配す。344・346は細かな押し引き沈線を密に施す。346は深鉢B類。345は区画内の刺突文を特徴とし、器形は小型の壺を思わせる球形の胴部片である。

底部 (図34) 図示した土器は、ほとんどが深鉢の底部と思われる破片である。基本的に底面から90°に近い角度で胴部が立ち上がる土器で、底面から直線的なものが多い (319~332)。しかし底面直上でくびれる土器もあり (333~337)、後期的な底部のはしりがみられる。338は中部・東海地方西部の深鉢の脚台部であり、垂下する凸帯の両側を押し

いている。339～342は底部の擬口縁例で、底部が円盤貼付けであったことを示す。

縄文晩期末の型式群（図版15・16，図37～40） この時期の土器群は泥炭質層および斜面黒褐色土層から出土した。泥炭質層出土土器は量的に少ないが、層位が安定した出土状況を呈しており、斜面堆積層からの出土土器は層位が不安定であった。以下では、泥炭質層出土土器を層位ごとに記述し、斜面堆積層出土土器はその補完にあてる。

晩期末の土器、とくに凸帯文土器の記述にあたっては、器形および凸帯の断面形態、凸帯と口縁との位置関係、凸帯上の刻目の形態が重要な要素となる。凸帯の形態とその施文位置による要素分類（図35，図36）に従って、以下の凸帯文土器を記述する。文中で用いる深鉢A類とは屈曲する肩部をもつ深鉢であり、深鉢B類とは砲弾形を呈する深鉢である。

また、図36に示した刻目の分類に対して、刻目が微かなことを特徴とする一群の土器があり、D字とV字の区別がつかなかったため、ここでは小DV字という表現を用いる。

泥炭質層3・4出土土器（図38） 凸帯文土器は出土していない。深鉢は外反する口縁部を持ち、口頸部は丁寧な撫で調整である（364・365・367）。口縁上端に364はD字刻み、367はV字刻みを施す。366は胴部篋削りの浅鉢で、口縁部を研磨している。深鉢は滋賀里Ⅲb式であるが、浅鉢は滋賀里Ⅳ式以降に盛行する器形である。他に滋賀里Ⅲb式は347・388がある。

泥炭質層2出土土器（図版16，図38・40） 深鉢は1条ないし2条の凸帯文土器である。368はA類a3型で刻目はD字、369はA類a2型で刻目はD字である。370は黒色に研磨された土器で篋削細線で平行線と三角形文を描く。そのほか丸底の底部（418）が出土している。

泥炭質層2出土土器（図38） 泥炭質層2は砂層が介在する所では上・下2層に分かれるが、本資料は区別できない地点出土の土器である。

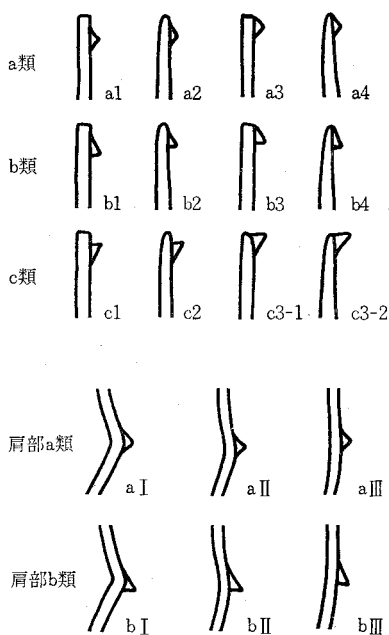


図35 凸帯の分類

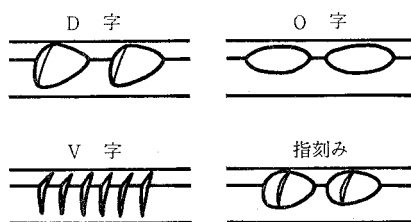


図36 刻目の分類

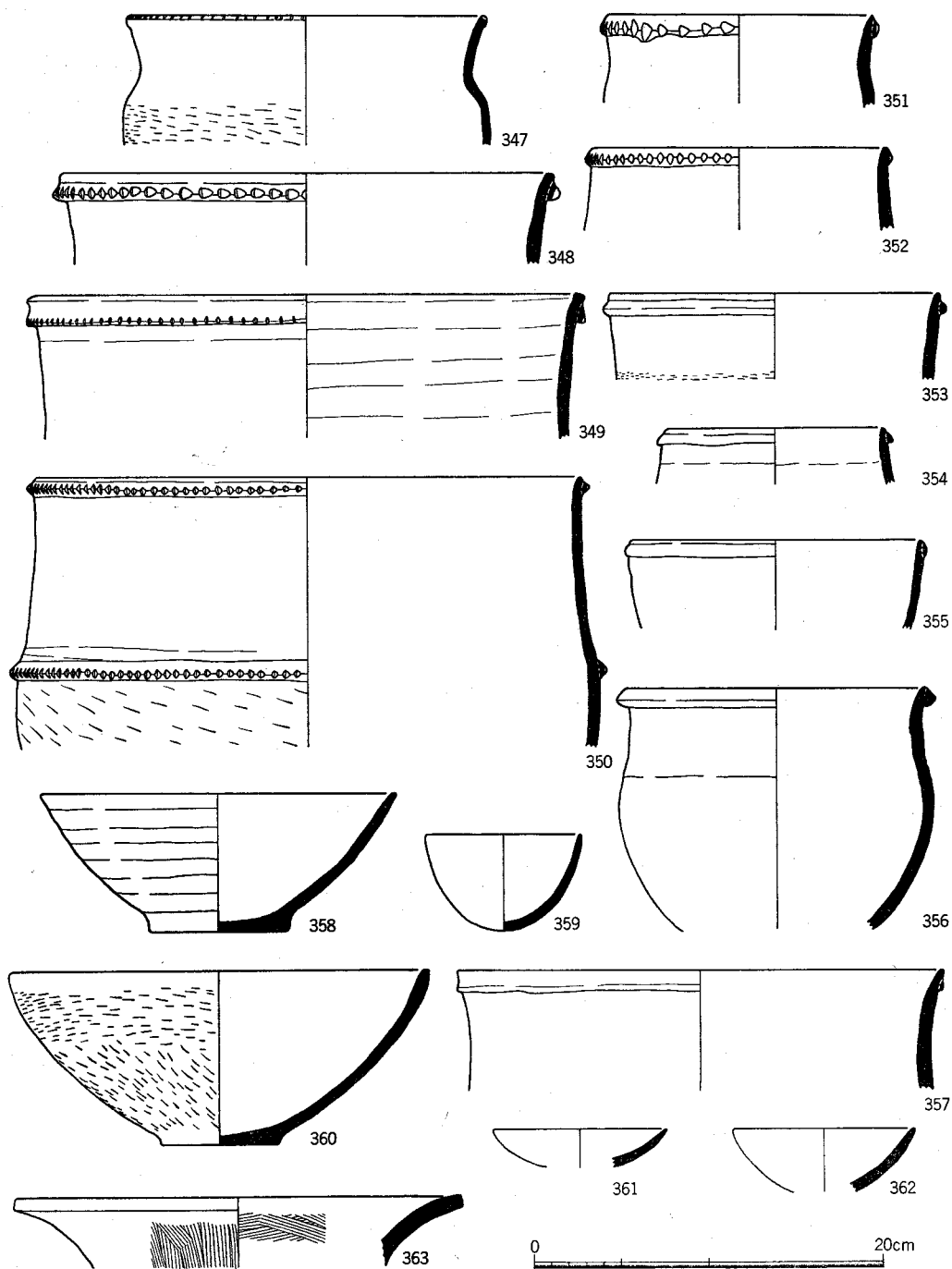


図37 縄文晩期の土器(1) (347・357・361白色砂1, 348・349・358・360泥炭質層2上, 350・351白色砂4, 352~356・359・361斜面黒褐色土, 362泥炭質層1), 弥生前期の土器(363暗灰色砂質土)



図38 縄文晩期の土器(2) (364~367泥炭質層3・4, 368~370泥炭質層2下, 371~373泥炭質層2, 374~389・393泥炭質層2上, 390~392白色砂4)

371はA類a 2型刻目D字, 372はA類a 4型刻目D字, 373はb 1型刻目V字である。

泥炭質層2上出土土器(図版15・16, 図37・38) 泥炭質層の中では最も多くの土器が出土した(348・349・358・360・374~389・393)。深鉢はA類a 2型(377・380・381), A類a 3型(348・374・378・379), A類b 3型(349), A類b 4型(375・376・382)などがある。肩部片は385がa II型, 383・384と386がb II型である。これに伴う浅鉢は387が口縁が短く「く」字形に内折する黒色研磨の浅鉢, 358・360・389・393は碗形の浅鉢で, 外面は篋削り・撫で調整であるが, 内面は丁寧に研磨している。滋賀里Ⅲb式の388を除き, 船橋式に相当する資料である。



図39 縄文晩期の土器(3) (394~401泥炭質層1, 402~413斜面黒褐色土・白色砂1, 414暗灰色砂質土)

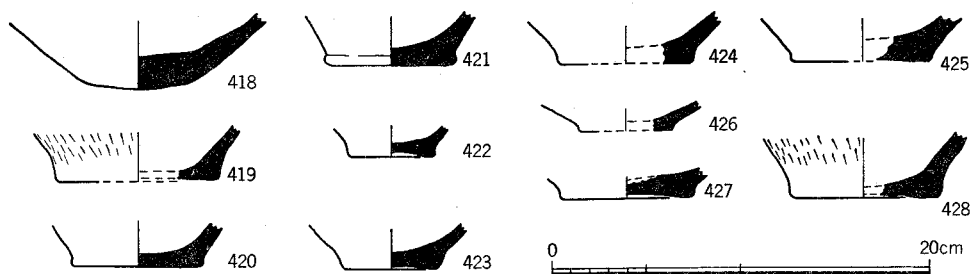


図40 縄文晩期の土器(4) (底部)

白色砂4出土土器(図版16, 図37・38) 350は深鉢A類a 4型で胴部はa II型の凸帯に小DV字刻目を施した土器。351はb 4型の凸帯文深鉢A類で刻目はD字である。391は深鉢A類c 4型のV字刻目土器, 392は同b 4型V字刻目土器である。390は肩部の破片で, 肩部a III型小DV字刻目である。これらの土器は, 泥炭質層2上と比べて凸帯が口縁下に接して付く4型が多く, より新しい傾向を示す。

泥炭質層1出土土器(図版16, 図37・39) 上・下など数層に分層できたが, 土器は少なくここでは一括した。凸帯文深鉢A類は397がa 3型刻目D字, 395は同刻目小DV字, 394はb 4型の刻目V字, 396はb 4型刻目小DV字, 399はb 4型刻目なしと多様であるが, 凸帯位置4型が主である。肩部はa III型D字刻みの401だけである。400は研磨の著しい刻目のない凸帯文土器の鉢。398は内外研磨の碗形, 362は研磨された皿形の浅鉢。

斜面黒褐色土出土土器(図版15・16, 図37・39) 複数の時期の資料を含む。凸帯をもたず, 口頸部が無で調整している土器(402・404)は, 滋賀里Ⅲb式である。凸帯文深鉢はa 1型は353・407, a 2型が408・411, a 3型が355, a 4型が403・413, b 4型が352・354・356・357・410・412であり, b 4が主である。刻目では刻目なしの凸帯が他と比べて多い。409は深鉢の肩部片でa III型V字刻みである。406は口縁の内外に凸帯のつく浅鉢, 359・405は碗形, 361は皿形の浅鉢である。なお, 白色砂1・暗灰色砂質土出土の土器も, 層的対応からこの群の中に一括した。414は暗灰色砂質土から出土した滋賀里Ⅲb式。

底部(図40)は泥炭質層2下から出土した1点の丸底(418)を除き, 他はすべて平底である。平底は底面から直線的に立ち上り, すぐに強く外反するものが多いが, 419のように外へややふんばる底部もある。擬口縁状のものがなく, 製作技法は不明である。

弥生前期の土器(図37) 畿内第Ⅰ様式新段階の外反のきつい壺の口縁部が1点, 暗灰色砂質土層(第11層)から出土した(363)。器壁内に榎殻の圧痕がみられた。

土器以外に土偶様の板状土製品(図版18-473)が出土した。表面に刺突を施している。

(泉 拓良 家根祥多 玉田芳英)

表6 土器の出土地区と層位

| 番号 | 型 式   | 分 類    | 地区   | 層 位      | 番号  | 型 式    | 分 類    | 地区  | 層 位      |
|----|-------|--------|------|----------|-----|--------|--------|-----|----------|
| 1  | 大歳山式  |        | b4Ⅰ  | 斜面黒褐色土   | 56  | 北白川C式  | 深鉢A1類d | c5Ⅰ | 黒色土1下    |
| 2  | 大歳山式  |        | c4Ⅳ  | 黒色土1下    | 57  | 北白川C式  | 深鉢A1類f | c5Ⅱ | 青灰色シルト1  |
| 3  | 大歳山式  |        | b4Ⅲ  | 斜面黒褐色土   | 58  | 北白川C式  | 深鉢A1類b | c5Ⅱ | 黒色土1下    |
| 4  | 鷹島式   |        | b3Ⅲ  | 泥炭質層2上   | 59  | 北白川C式  | 深鉢A1類d | c4Ⅳ | 黒色土1下    |
| 5  | 鷹島式   |        | b3Ⅲ  | 泥炭質層2上   | 60  | 北白川C式  | 深鉢A1類d | c4Ⅳ | 黒色土1中    |
| 6  | 船元Ⅱ式  |        | c4Ⅲ  | 黒色土1中    | 61  | 北白川C式  | 深鉢A1類d | c5Ⅰ | 黒色土1下    |
| 7  | 中期中葉  |        | c4Ⅳ  | 白色砂8     | 62  | 北白川C式  | 深鉢A1類d | b4  | 斜面黒褐色土   |
| 8  | 船元Ⅲ式  |        | c5Ⅰ  | 黒色土1下    | 63  | 北白川C式  | 深鉢A1類d | c5Ⅱ | 青灰色シルト1  |
| 9  | 船元Ⅲ式  |        | c5Ⅰ  | 斜面黒褐色土   | 64  | 北白川C式  | 深鉢A1類e | c5Ⅱ | 黒色土1下    |
| 10 | 船元Ⅲ式  |        | c5Ⅱ  | 泥炭質層2下   | 65  | 北白川C式  | 深鉢A1類e | c5Ⅰ | 白色砂8     |
| 11 | 船元Ⅲ式  |        | c5Ⅰ  | 黒色土1下    | 66  | 北白川C式  | 深鉢A1類e | c5Ⅱ | 黒色土1下    |
| 12 | 船元Ⅲ式  |        | d4Ⅳ  | 白色砂1     | 67  | 北白川C式  | 深鉢A1類e | c5Ⅱ | 黒色土1下    |
| 13 | 船元Ⅲ式  |        | d4Ⅰ  | 白色砂1     | 68  | 北白川C式  | 深鉢A1類e | c4Ⅳ | 黒色土1下    |
| 14 | 船元Ⅲ式  |        | c5Ⅰ  | 黒色土1下    | 69  | 北白川C式  | 深鉢A1類d | c5Ⅰ | 白色砂8     |
| 15 | 船元Ⅲ式  |        | c5Ⅰ  | 黒色土1上    | 70  | 北白川C式  | 深鉢A1類f | c5Ⅰ | 黒色土1上    |
| 16 | 船元Ⅳ式  |        | c5Ⅱ  | 白色砂8     | 71  | 北白川C式  | 深鉢A1類f | c5Ⅰ | 斜面黒褐色土   |
| 17 | 船元Ⅳ式  |        | b4   | 黒色土2     | 72  | 北白川C式  | 深鉢A1類f | c4Ⅳ | 黒色土1中    |
| 18 | 船元Ⅳ式  |        | c5Ⅰ  | 斜面黒褐色土   | 73  | 北白川C式  | 深鉢A2類a | c5Ⅰ | 黒色土1上    |
| 19 | 船元Ⅳ式  |        | d4Ⅳ  | 暗灰色砂質土   | 74  | 北白川C式  | 深鉢A2類a | c5Ⅱ | 黒色土1下    |
| 20 | 船元Ⅳ式  |        | 不明   | —        | 75  | 北白川C式  | 深鉢A2類a | c5Ⅲ | 黒色土1下    |
| 21 | 船元Ⅳ式  |        | c4Ⅳ  | 斜面黒褐色土   | 76  | 北白川C式  | 深鉢A2類b | c5Ⅲ | 黒色土1中    |
| 22 | 船元Ⅳ式  |        | c4・5 | —        | 77  | 北白川C式  | 深鉢A2類c | c5Ⅰ | 黒色土1下    |
| 23 | 船元Ⅳ式  |        | c5Ⅰ  | 斜面黒褐色土   | 78  | 北白川C式  | 深鉢A2類b | c5Ⅰ | 黒色土1下    |
| 24 | 船元Ⅳ式  |        | c5Ⅱ  | 青灰色シルト1  | 79  | 北白川C式  | 深鉢A2類b | c5Ⅱ | 黒色土1下    |
| 25 | 船元Ⅳ式  |        | c5Ⅱ  | 青灰色シルト1  | 80  | 北白川C式  | 深鉢A2類b | c5Ⅰ | —        |
| 26 | 船元Ⅳ式  |        | c5Ⅱ  | 黒色土1下    | 81  | 北白川C式  | 深鉢A2類a | b4Ⅲ | 斜面黒褐色土   |
| 27 | 船元Ⅳ式  |        | c5Ⅱ  | 黒色土1下    | 82  | 北白川C式  | 深鉢A2類a | c4Ⅳ | 黒色土1下    |
| 28 | 船元Ⅳ式  |        | c5Ⅱ  | 斜面青灰色砂質土 | 83  | 北白川C式  | 深鉢A2類a | c5Ⅱ | 黒色土1下    |
| 29 | 船元Ⅳ式  |        | c5Ⅰ  | 黒色土2     | 84  | 北白川C式  | 深鉢A2類c | c5Ⅰ | 黒色土1下    |
| 30 | 里木Ⅱ式  |        | c5Ⅰ  | 白色砂8     | 85  | 北白川C式  | 深鉢A2類  | b4Ⅲ | 斜面黒褐色土   |
| 31 | 里木Ⅱ式  |        | c5Ⅱ  | 斜面青灰色砂質土 | 86  | 北白川C式  | 深鉢A3類  | c5Ⅰ | 黒色土1下    |
| 32 | 里木Ⅱ式  |        | c5Ⅱ  | 黒色土2     | 87  | 北白川C式  | 深鉢A3類  | c5Ⅰ | 黒色土1下    |
| 33 | 里木Ⅱ式  |        | c4Ⅳ  | 白色砂8     | 88  | 北白川C式  | 深鉢A4類  | c5Ⅰ | 黒色土1上    |
| 34 | 里木Ⅱ式  |        | c4Ⅳ  | 白色砂1     | 89  | 北白川C式  | 深鉢A4類  | c5Ⅰ | 黒色土1下    |
| 35 | 里木Ⅱ式  |        | c5Ⅰ  | 黒色土1下    | 90  | 北白川C式  | 深鉢A4類  | c4Ⅳ | 黒色土1下    |
| 36 | 里木Ⅱ式  |        | c4Ⅳ  | 黒色土1中    | 91  | 北白川C式  | 深鉢A4類  | c5Ⅰ | 黒色土1下    |
| 37 | 里木Ⅱ式  |        | c5Ⅰ  | 白色砂8     | 92  | 北白川C式  | 深鉢A4類  | c5Ⅰ | 黒色土1下    |
| 38 | 北白川C式 | 深鉢A1類b | c5Ⅰ  | 黒色土1下    | 93  | 北白川C式  | 深鉢A4類  | c5Ⅱ | 黒色土1下    |
| 39 | 北白川C式 | 深鉢A1類d | c5Ⅰ  | 黒色土1下    | 94  | 北白川C式  | 深鉢A4類  | b4Ⅱ | 黒色土1上    |
| 40 | 北白川C式 | 深鉢A1類f | c4Ⅳ  | 黒色土1下    | 95  | 北白川C式  | 深鉢A4類  | b4Ⅰ | 斜面黒褐色土   |
| 41 | 北白川C式 | 深鉢A3類  | c5Ⅰ  | 黒色土1下    | 96  | 北白川C式  | 深鉢A4類  | d5Ⅱ | 白色砂1     |
| 42 | 北白川C式 | 深鉢A1類c | c5Ⅰ  | 黒色土1下    | 97  | 北白川C式  | 深鉢A5類  | b4Ⅰ | 斜面黒褐色土   |
| 43 | 北白川C式 | 深鉢A1類b | c5Ⅰ  | 黒色土1下    | 98  | 北白川C式  | 深鉢A5類  | c5Ⅱ | 黒色土1下    |
| 44 | 北白川C式 | 深鉢A1類c | c4Ⅳ  | 黒色土1下    | 99  | 北白川C式  | 深鉢A5類  | c5Ⅱ | 青灰色シルト1  |
| 45 | 北白川C式 | 深鉢A1類c | c5Ⅰ  | 黒色土1下    | 100 | 北白川C式  | 深鉢A5類  | c4Ⅳ | 斜面青灰色砂質土 |
| 46 | 北白川C式 | 深鉢A1類c | c5Ⅰ  | 黒色土1下    | 101 | 北白川C式  | 深鉢A5類  | 不明  | —        |
| 47 | 北白川C式 | 深鉢A1類c | c5Ⅰ  | 黒色土1上    | 102 | 北白川C式  | 深鉢A5類  | c5Ⅰ | 黒色土1下    |
| 48 | 北白川C式 | 深鉢A1類c | c5Ⅰ  | 黒色土1下    | 103 | 北白川C式  | 深鉢A5類  | c5Ⅱ | 黒色土1上    |
| 49 | 北白川C式 | 深鉢A1類c | c4Ⅳ  | 黒色土1中    | 104 | 北白川C式  | 深鉢A5類  | b4Ⅰ | 斜面黒褐色土   |
| 50 | 北白川C式 | 深鉢A1類c | c4Ⅳ  | 斜面青灰色砂質土 | 105 | 北白川C式  | 深鉢A5類  | c5Ⅰ | 黒色土1中    |
| 51 | 北白川C式 | 深鉢A1類c | c4Ⅳ  | 黒色土1下    | 106 | 北白川C式  | 深鉢A5類  | c5Ⅰ | 黒色土1下    |
| 52 | 北白川C式 | 深鉢A1類d | c5Ⅰ  | 黒色土1下    | 107 | 北白川C式  | 深鉢A5類  | b4Ⅱ | 黒色土1中    |
| 53 | 北白川C式 | 深鉢A1類d | c4Ⅳ  | 黒色土1下    | 108 | 北白川C式? | 深鉢A6類  | c5Ⅰ | 黒色土1下    |
| 54 | 北白川C式 | 深鉢A1類f | c5Ⅱ  | 黒色土1下    | 109 | 北白川C式? | 深鉢A6類  | c4Ⅳ | 斜面青灰色砂質土 |
| 55 | 北白川C式 | 深鉢A1類a | b4Ⅲ  | 黒色土2     | 110 | 北白川C式? | 深鉢A6類  | c5Ⅰ | 黒色土1上    |

表 6 つづき

| 番号  | 型 式    | 分 類    | 地区  | 層        | 位 | 番号  | 型 式   | 分 類    | 地区  | 層       | 位 |
|-----|--------|--------|-----|----------|---|-----|-------|--------|-----|---------|---|
| 111 | 北白川C式? | 深鉢A6類  | c5Ⅰ | ——       |   | 166 | 北白川C式 | 深鉢C1類c | d4  | 斜面黒褐色土  |   |
| 112 | 北白川C式? | 深鉢A6類  | c5Ⅱ | 斜面黒褐色土   |   | 167 | 北白川C式 | 深鉢C1類c | c5Ⅰ | 黒色土1下   |   |
| 113 | 北白川C式? | 深鉢A6類  | c5Ⅰ | 黒色土1上    |   | 168 | 北白川C式 | 深鉢C1類c | b5  | ——      |   |
| 114 | 北白川C式? | 深鉢A6類  | c4Ⅲ | 黒色土1下    |   | 169 | 北白川C式 | 深鉢C1類c | b4  | 斜面黒褐色土  |   |
| 115 | 北白川C式? | 深鉢A6類  | c5Ⅱ | 黒色土1下    |   | 170 | 北白川C式 | 深鉢C1類c | c4Ⅳ | 黒色土1上   |   |
| 116 | 北白川C式? | 深鉢A6類  | c5Ⅰ | 黒色土1下    |   | 171 | 北白川C式 | 深鉢C1類c | b4Ⅱ | 黒色土1中   |   |
| 117 | 北白川C式? | 深鉢A6類  | c5Ⅱ | 青灰色シルト1  |   | 172 | 北白川C式 | 深鉢C1類c | c4Ⅳ | 黒色土1下   |   |
| 118 | 北白川C式? | 深鉢A6類  | b4  | 斜面黒褐色土   |   | 173 | 北白川C式 | 深鉢C1類c | b4Ⅲ | 黒色土1中   |   |
| 119 | 北白川C式? | 深鉢A6類  | c5Ⅲ | ——       |   | 174 | 北白川C式 | 深鉢C1類c | b4  | ——      |   |
| 120 | 北白川C式? | 深鉢A6類  | c5Ⅰ | 黒色土1下    |   | 175 | 北白川C式 | 深鉢C1類c | c3  | ——      |   |
| 121 | 北白川C式? | 深鉢A6類  | c5Ⅰ | 青灰色シルト1  |   | 176 | 北白川C式 | 深鉢C1類c | c5Ⅰ | 暗灰色砂質土  |   |
| 122 | 北白川C式? | 深鉢A6類  | c5Ⅱ | 青灰色シルト1  |   | 177 | 北白川C式 | 深鉢C1類c | b4Ⅳ | 白色砂4    |   |
| 123 | 北白川C式? | 深鉢A6類  | c5Ⅰ | 黒色土1下    |   | 178 | 北白川C式 | 深鉢C1類c | c4Ⅳ | 斜面黒褐色土  |   |
| 124 | 北白川C式? | 深鉢A6類  | c4  | 黒色土1上    |   | 179 | 北白川C式 | 深鉢C1類a |     | 斜面黒褐色土  |   |
| 125 | 北白川C式? | 深鉢A6類  | c4  | 黒色土1上    |   | 180 | 北白川C式 | 深鉢C1類a | c4Ⅳ | 黒色土2    |   |
| 126 | 北白川C式? | 深鉢A6類  | c5Ⅱ | 黒色土1下    |   | 181 | 北白川C式 | 深鉢C1類c | b4Ⅲ | 斜面黒褐色土  |   |
| 127 | 北白川C式? | 深鉢A6類  | b4  | ——       |   | 182 | 北白川C式 | 深鉢C1類b | c5Ⅰ | ——      |   |
| 128 | 北白川C式  | 深鉢B1類a | c5Ⅰ | 黒色土1下    |   | 183 | 北白川C式 | 深鉢C1類c | c5Ⅱ | 黒色土1下   |   |
| 129 | 北白川C式  | 深鉢B1類a | c5Ⅰ | 黒色土1下    |   | 184 | 北白川C式 | 深鉢C1類c | c4Ⅳ | 黒色土1下   |   |
| 130 | 北白川C式  | 深鉢B1類  | c5Ⅱ | 黒色土1下    |   | 185 | 北白川C式 | 深鉢C1類c | c5Ⅱ | 黒色土1下   |   |
| 131 | 北白川C式  | 深鉢B2類b | c5Ⅰ | 黒色土1下    |   | 186 | 北白川C式 | 深鉢C2類a | c5Ⅰ | 黒色土1下   |   |
| 132 | 北白川C式  | 深鉢B1類a | c5Ⅰ | 黒色土1下    |   | 187 | 北白川C式 | 深鉢C2類b | c5Ⅱ | 黒色土1下   |   |
| 133 | 北白川C式  | 深鉢B1類a | c5Ⅱ | 青灰色シルト1  |   | 188 | 北白川C式 | 深鉢C2類b | c5Ⅱ | 黒色土1下   |   |
| 134 | 北白川C式  | 深鉢B1類a | c5Ⅱ | 黒色土1下    |   | 189 | 北白川C式 | 深鉢C2類a | c4Ⅳ | 黒色土1下   |   |
| 135 | 北白川C式  | 深鉢B1類b | c5Ⅰ | 黒色土1下    |   | 190 | 北白川C式 | 深鉢C2類b | c5Ⅰ | 黒色土1下   |   |
| 136 | 北白川C式  | 深鉢B1類b | c5Ⅰ | 黒色土1下    |   | 191 | 北白川C式 | 深鉢C2類b | b4Ⅲ | 斜面黒褐色土  |   |
| 137 | 北白川C式  | 深鉢B1類a | c5Ⅰ | 黒色土1下    |   | 192 | 北白川C式 | 深鉢C2類b | c5Ⅱ | 青灰色シルト1 |   |
| 138 | 北白川C式  | 深鉢B1類a | c4Ⅳ | 斜面黒褐色土   |   | 193 | 北白川C式 | 深鉢C3類  | c5Ⅱ | 白色砂1    |   |
| 139 | 北白川C式  | 深鉢B1類a | b4Ⅱ | 黒色土1中    |   | 194 | 北白川C式 | 深鉢C3類  | c5Ⅰ | 黒色土1下   |   |
| 140 | 北白川C式  | 深鉢B1類a | c5Ⅱ | 黒色土1下    |   | 195 | 北白川C式 | 深鉢C3類  | c5Ⅰ | 黒色土1下   |   |
| 141 | 北白川C式  | 深鉢B1類a | c5Ⅲ | ——       |   | 196 | 北白川C式 | 深鉢C3類  | c5Ⅰ | 黒色土1下   |   |
| 142 | 北白川C式  | 深鉢B1類a | b4Ⅲ | 黒色土1下    |   | 197 | 北白川C式 | 深鉢C3類  | 不 明 |         |   |
| 143 | 北白川C式  | 深鉢B1類a | b4Ⅰ | 黒色土1中    |   | 198 | 北白川C式 | 深鉢C3類  | c5Ⅰ | 黒色土1下   |   |
| 144 | 北白川C式  | 深鉢B1類a | c5Ⅰ | 黒色土1中    |   | 199 | 北白川C式 | 深鉢C3類  | c4  | 黒色土1上   |   |
| 145 | 北白川C式  | 深鉢B1類b | c5Ⅰ | 黒色土1下    |   | 200 | 北白川C式 | 胴 部    | c4  | 黒色土1上   |   |
| 146 | 北白川C式  | 深鉢B1類b | c5Ⅱ | 黒色土1下    |   | 201 | 北白川C式 | 胴 部    | b4Ⅱ | 黒色土1中   |   |
| 147 | 北白川C式  | 深鉢B1類a | c5Ⅰ | 黒色土1下    |   | 202 | 北白川C式 | 胴 部    | c5Ⅰ | 黒色土1下   |   |
| 148 | 北白川C式  | 深鉢B1類  | 不 明 | 斜面青灰色砂質土 |   | 203 | 北白川C式 | 胴 部    | c4Ⅳ | 黒色土1下   |   |
| 149 | 北白川C式  | 深鉢B2類a | b5  | ——       |   | 204 | 北白川C式 | 胴 部    | c4Ⅳ | 黒色土1下   |   |
| 150 | 北白川C式  | 深鉢B2類a | c5  | ——       |   | 205 | 北白川C式 | 胴 部    | c5Ⅱ | 黒色土1下   |   |
| 151 | 北白川C式  | 深鉢B2類a | b4Ⅲ | 黒色土1上    |   | 206 | 北白川C式 | 胴 部    | c5Ⅰ | 黒色土1下   |   |
| 152 | 北白川C式  | 深鉢B2類a | c5Ⅰ | 黒色土1下    |   | 207 | 北白川C式 | 胴 部    | c5Ⅱ | 黒色土1下   |   |
| 153 | 北白川C式  | 深鉢B2類d | c5Ⅰ | 黒色土1下    |   | 208 | 北白川C式 | 胴 部    | c5Ⅰ | 黒色土1下   |   |
| 154 | 北白川C式  | 深鉢B2類c | b4Ⅱ | 黒色土2     |   | 209 | 北白川C式 | 胴 部    | c4Ⅳ | 黒色土1中   |   |
| 155 | 北白川C式  | 深鉢B2類c | c4Ⅳ | 青灰色シルト1  |   | 210 | 北白川C式 | 胴 部    | c5Ⅰ | 黒色土1下   |   |
| 156 | 北白川C式  | 深鉢B2類c | c4Ⅳ | 黒色土1下    |   | 211 | 北白川C式 | 胴 部    | b4Ⅲ | 斜面黒褐色土  |   |
| 157 | 北白川C式  | 深鉢B2類b | c4Ⅳ | 黒色土1下    |   | 212 | 北白川C式 | 胴 部    | c5Ⅰ | 黒色土1下   |   |
| 158 | 北白川C式  | 深鉢B2類d | c5Ⅱ | 暗灰色砂質土   |   | 213 | 北白川C式 | 胴 部    | 不 明 |         |   |
| 159 | 北白川C式  | 深鉢B2類c | c5Ⅱ | 斜面青灰色砂質土 |   | 214 | 北白川C式 | 胴 部    | c5Ⅰ | 黒色土1下   |   |
| 160 | 北白川C式  | 深鉢B2類e | b4Ⅲ | 斜面黒褐色土   |   | 215 | 北白川C式 | 胴 部    | c5Ⅰ | 黒色土1下   |   |
| 161 | 北白川C式  | 深鉢B2類f | c5Ⅰ | 黒色土1下    |   | 216 | 北白川C式 | 胴 部    | c5Ⅰ | 黒色土1上   |   |
| 162 | 北白川C式  | 深鉢B2類c | c4Ⅳ | 黒色土1中    |   | 217 | 北白川C式 | 胴 部    | c5Ⅰ | 黒色土1下   |   |
| 163 | 北白川C式  | 深鉢B2類d | b4  | 黒色土1下    |   | 218 | 北白川C式 | 胴 部    | b4Ⅲ | 斜面黒褐色土  |   |
| 164 | 北白川C式  | 深鉢C3類  | b4Ⅲ | 斜面黒褐色土   |   | 219 | 北白川C式 | 胴 部    | c5Ⅱ | 黒色土1下   |   |
| 165 | 北白川C式  | 深鉢C1類c | b4Ⅰ | 黒色土1中    |   | 220 | 北白川C式 | 胴 部    | c5Ⅱ | 黒色土1下   |   |

表 6 つづき

| 番号  | 型     | 式  | 分      | 類 | 地区  | 層        | 位 | 番号  | 型   | 式  | 分      | 類 | 地区  | 層       | 位 |
|-----|-------|----|--------|---|-----|----------|---|-----|-----|----|--------|---|-----|---------|---|
| 221 | 北白川   | C式 | 胴      | 部 | c4Ⅳ | 黒色土1下    |   | 276 | 北白川 | C式 | 浅鉢D    | 類 | c4Ⅳ | 黒色土1下   |   |
| 222 | 北白川   | C式 | 胴      | 部 | c5Ⅰ | 黒色土1下    |   | 277 | 北白川 | C式 | 浅鉢B1類  |   | c5Ⅱ | 黒色土1下   |   |
| 223 | 北白川   | C式 | 胴      | 部 | c4Ⅳ | 黒色土1下    |   | 278 | 北白川 | C式 | 浅鉢B2類  |   |     |         |   |
| 224 | 北白川   | C式 | 胴      | 部 | c5Ⅰ | 黒色土1下    |   | 279 | 北白川 | C式 | 浅鉢A1類b |   | c5Ⅰ | 黒色土1下   |   |
| 225 | 北白川   | C式 | 胴      | 部 | c5Ⅰ | 黒色土1下    |   | 280 | 北白川 | C式 | 浅鉢A1類b |   | c4Ⅳ | 黒色土1下   |   |
| 226 | 北白川   | C式 | 胴      | 部 | c4Ⅳ | 黒色土1下    |   | 281 | 北白川 | C式 | 浅鉢A1類a |   | c5Ⅱ | 黒色土1下   |   |
| 227 | 北白川   | C式 | 胴      | 部 | c5Ⅱ | 斜面青灰色砂質土 |   | 282 | 北白川 | C式 | 浅鉢A1類b |   | c5Ⅰ | 黒色土1下   |   |
| 228 | 北白川   | C式 | 胴      | 部 | b4Ⅳ | 斜面黒褐色土   |   | 283 | 北白川 | C式 | 浅鉢A1類b |   | c4  | 黒色土1下   |   |
| 229 | 北白川   | C式 | 胴      | 部 | c5Ⅱ | 黒色土1下    |   | 284 | 北白川 | C式 | 浅鉢A1類b |   | c4Ⅳ | 黒色土1下   |   |
| 230 | 北白川   | C式 | 胴      | 部 | c5Ⅲ | 黒色土1下    |   | 285 | 北白川 | C式 | 浅鉢A1類b |   | c5Ⅱ | 黒色土1下   |   |
| 231 | 北白川   | C式 | 胴      | 部 | c5Ⅱ | 黒色土1下    |   | 286 | 北白川 | C式 | 浅鉢A1類b |   | c4Ⅳ | 黒色土1下   |   |
| 232 | 北白川   | C式 | 胴      | 部 | b4Ⅲ | 黒色土1上    |   | 287 | 北白川 | C式 | 浅鉢A1類b |   | c4Ⅳ | 黒色土1下   |   |
| 233 | 北白川   | C式 | 胴      | 部 | c5Ⅱ | 黒色土1下    |   | 288 | 北白川 | C式 | 浅鉢A1類b |   | c5Ⅰ | 黒色土1下   |   |
| 234 | 北白川   | C式 | 胴      | 部 | c5Ⅱ | 黒色土1下    |   | 289 | 北白川 | C式 | 浅鉢A1類b |   | c4Ⅳ | 黒色土1下   |   |
| 235 | 北白川   | C式 | 胴      | 部 | b4Ⅲ | 黒色土1中    |   | 290 | 北白川 | C式 | 浅鉢A2類b |   | b4Ⅰ | 斜面黒褐色土  |   |
| 236 | 北白川   | C式 | 胴      | 部 | c5Ⅱ | 黒色土1下    |   | 291 | 北白川 | C式 | 浅鉢A2類a |   | b4Ⅱ | 白色砂1    |   |
| 237 | 北白川   | C式 | 胴      | 部 | c5Ⅰ | 黒色土1下    |   | 292 | 北白川 | C式 | 浅鉢A2類a |   | c4Ⅳ | 黒色土1下   |   |
| 238 | 北白川   | C式 | 胴      | 部 | c4Ⅳ | 黒色土1下    |   | 293 | 北白川 | C式 | 浅鉢A2類a |   | c5Ⅱ | 白色砂5    |   |
| 239 | 北白川   | C式 | 胴      | 部 | c5Ⅰ | 黒色土1下    |   | 294 | 北白川 | C式 | 浅鉢A2類b |   | c5Ⅰ | 黒色土1下   |   |
| 240 | 大杉谷式系 |    | 胴      | 部 | c5Ⅱ | 黒色土1下    |   | 295 | 北白川 | C式 | 浅鉢A2類a |   | c5Ⅰ | 黒色土1下   |   |
| 241 | 大木Ⅱ式系 |    | 胴      | 部 | c5Ⅱ | 青灰色シルト1  |   | 296 | 北白川 | C式 | 浅鉢A2類a |   | b4Ⅱ | 黒色土1上   |   |
| 242 | 北白川   | C式 | 深鉢D1類  |   | c5Ⅰ | 黒色土1下    |   | 297 | 北白川 | C式 | 浅鉢A3類b |   | c5Ⅱ | 青灰色シルト1 |   |
| 243 | 北白川   | C式 | 深鉢D1類  |   | c5Ⅰ | 黒色土1下    |   | 298 | 北白川 | C式 | 浅鉢A3類b |   | c5Ⅰ | 黒色土1下   |   |
| 244 | 北白川   | C式 | 深鉢F類   |   | c5Ⅰ | 黒色土1下    |   | 299 | 北白川 | C式 | 浅鉢A3類a |   | c5Ⅰ | 黒色土1下   |   |
| 245 | 北白川   | C式 | 深鉢D2類  |   | c4Ⅳ | 黒色土1下    |   | 300 | 北白川 | C式 | 浅鉢A3類c |   | c5Ⅱ | 黒色土1上   |   |
| 246 | 後     | 期  | 深鉢D2類  |   | c5Ⅰ | 斜面黒褐色土   |   | 301 | 北白川 | C式 | 浅鉢A3類c |   | c4Ⅲ | 青灰色シルト1 |   |
| 247 | 北白川   | C式 | 深鉢D2類  |   | c4Ⅳ | 黒色土1下    |   | 302 | 北白川 | C式 | 浅鉢A3類c |   | c4  | 黒色土1下   |   |
| 248 | 北白川   | C式 | 深鉢D2類  |   | c5Ⅰ | 黒色土1下    |   | 303 | 北白川 | C式 | 浅鉢A3類c |   | c5Ⅰ | 黒色土1下   |   |
| 249 | 北白川   | C式 | 深鉢D2類  |   | c4  | 黒色土1上    |   | 304 | 北白川 | C式 | 浅鉢A4類  |   | c5Ⅱ | 青灰色シルト1 |   |
| 250 | 北白川   | C式 | 深鉢D2類  |   | c5Ⅰ | 黒色土1下    |   | 305 | 北白川 | C式 | 浅鉢A4類  |   | c5Ⅰ | 黒色土1下   |   |
| 251 | 北白川   | C式 | 深鉢D1類  |   | c4Ⅳ | 黒色土1下    |   | 306 | 北白川 | C式 | 浅鉢B2類  |   | b4Ⅰ | 斜面黒褐色土  |   |
| 252 | 北白川   | C式 | 深鉢D1類  |   | c5Ⅰ | 黒色土1下    |   | 307 | 北白川 | C式 | 浅鉢B2類  |   | b4  | 斜面黒褐色土  |   |
| 253 | 北白川   | C式 | 深鉢D1類  |   | c5Ⅱ | 黒色土1下    |   | 308 | 北白川 | C式 | 浅鉢B2類  |   | c4  | 黒色土1下   |   |
| 254 | 北白川   | C式 | 深鉢D1類  |   | c4Ⅳ | 黒色土1下    |   | 309 | 北白川 | C式 | 浅鉢B2類  |   | c5Ⅰ | 黒色土1中   |   |
| 255 | 北白川   | C式 | 深鉢D1類  |   | b4Ⅱ | 黒色土1中    |   | 310 | 北白川 | C式 | 浅鉢B2類  |   | c5Ⅰ | 黒色土1下   |   |
| 256 | 北白川   | C式 | 深鉢D1類  |   | c4Ⅳ | 黒色土1下    |   | 311 | 北白川 | C式 | 浅鉢C1類  |   | b4Ⅲ | 斜面黒褐色土  |   |
| 257 | 北白川   | C式 | 深鉢D1類  |   | c4Ⅳ | 黒色土1下    |   | 312 | 北白川 | C式 | 浅鉢C2類  |   | c5Ⅱ | 黒色土1下   |   |
| 258 | 北白川   | C式 | 深鉢D1類  |   | c4Ⅳ | 黒色土1下    |   | 313 | 北白川 | C式 | 浅鉢C2類  |   | b4Ⅰ | 斜面黒褐色土  |   |
| 259 | 北白川   | C式 | 深鉢D1類  |   | c5Ⅰ | 黒色土1下    |   | 314 | 北白川 | C式 | 浅鉢C2類  |   | c5Ⅰ | 黒色土1下   |   |
| 260 | 北白川   | C式 | 深鉢D1類  |   | c5Ⅱ | 黒色土1下    |   | 315 | 北白川 | C式 | 浅鉢C3類  |   | c5Ⅱ | 黒色土1下   |   |
| 261 | 里木Ⅱ式? |    | 深鉢D1類  |   | c5Ⅱ | 黒色土1下    |   | 316 | 北白川 | C式 | 浅鉢C3類  |   | c5Ⅰ | 黒色土1下   |   |
| 262 | 北白川   | C式 | 深鉢E類   |   | c4Ⅳ | 黒色土1下    |   | 317 | 北白川 | C式 | 浅鉢C3類  |   | c5Ⅰ | 黒色土1下   |   |
| 263 | 北白川   | C式 | 深鉢E類   |   | c4Ⅳ | 黒色土1下    |   | 318 | 北白川 | C式 | 浅鉢D類   |   | b4Ⅰ | 斜面黒褐色土  |   |
| 264 | 北白川   | C式 | 深鉢F類   |   | c5Ⅱ | 黒色土1下    |   | 319 | 北白川 | C式 | 底      | 部 | c5Ⅰ | 白色砂8    |   |
| 265 | 北白川   | C式 | 深鉢F類   |   | c5Ⅰ | 黒色土1下    |   | 320 | 北白川 | C式 | 底      | 部 | c5Ⅱ | 黒色土1下   |   |
| 266 | 北白川   | C式 | 深鉢F類   |   | c5Ⅱ | 黒色土1下    |   | 321 | 北白川 | C式 | 底      | 部 | c5Ⅰ | 黒色土1下   |   |
| 267 | 北白川   | C式 | 浅鉢A1類a |   | c5Ⅰ | 黒色土1下    |   | 322 | 北白川 | C式 | 底      | 部 | c4Ⅳ | 黒色土1下   |   |
| 268 | 北白川   | C式 | 浅鉢A4類  |   | c5Ⅱ | 黒色土1下    |   | 323 | 北白川 | C式 | 底      | 部 | c5Ⅱ | 黒色土1下   |   |
| 269 | 北白川   | C式 | 浅鉢A4類  |   | c5Ⅱ | 黒色土1下    |   | 324 | 北白川 | C式 | 底      | 部 | c5Ⅰ | 黒色土1下   |   |
| 270 | 北白川   | C式 | 浅鉢A2類a |   | c5Ⅱ | 青灰色シルト1  |   | 325 | 北白川 | C式 | 底      | 部 | c4Ⅳ | 黒色土1下   |   |
| 271 | 不     | 明  | 浅鉢A4類  |   | c5Ⅰ | 青灰色シルト1  |   | 326 | 北白川 | C式 | 底      | 部 | c5Ⅱ | 黒色土1下   |   |
| 272 | 北白川   | C式 | 浅鉢A2類c |   | c5Ⅰ | 黒色土1下    |   | 327 | 北白川 | C式 | 底      | 部 | c5Ⅰ | 黒色土1中   |   |
| 273 | 北白川   | C式 | 浅鉢B1類  |   | c4  | 黒色土1上    |   | 328 | 北白川 | C式 | 底      | 部 | c5Ⅰ | 黒色土1下   |   |
| 274 | 北白川   | C式 | 浅鉢C2類  |   | c5Ⅰ | 黒色土1下    |   | 329 | 北白川 | C式 | 底      | 部 | c5Ⅱ | 黒色土1下   |   |
| 275 | 北白川   | C式 | 壺      |   | c5Ⅰ | 黒色土1下    |   | 330 | 北白川 | C式 | 底      | 部 | c5Ⅰ | 黒色土1下   |   |

表6 つづき

| 番号  | 型            | 式  | 分   | 類  | 地区  | 層      | 位             | 番号  | 型      | 式 | 分 | 類   | 地区     | 層             | 位 |
|-----|--------------|----|-----|----|-----|--------|---------------|-----|--------|---|---|-----|--------|---------------|---|
| 331 | 北白川          | C式 | 底   | 部  | c5Ⅰ | 黒色土    | 1下            | 381 | 凸帶文土器  | 深 | 鉢 | d5Ⅰ | 泥炭質層   | 2上            |   |
| 332 | 北白川          | C式 | 底   | 部  | c5Ⅰ | 黒色土    | 1下            | 382 | 凸帶文土器  | 深 | 鉢 | c5Ⅱ | 泥炭質層   | 2上            |   |
| 333 | 北白川          | C式 | 底   | 部  | c5Ⅱ | 黒色土    | 1下            | 383 | 凸帶文土器  | 深 | 鉢 | d4Ⅰ | 泥炭質層   | 2上            |   |
| 334 | 北白川          | C式 | 底   | 部  | c5Ⅰ | 黒色土    | 1下            | 384 | 凸帶文土器  | 深 | 鉢 | c4Ⅳ | 泥炭質層   | 2上            |   |
| 335 | 北白川          | C式 | 底   | 部  | c4Ⅳ | 黒色土    | 1下            | 385 | 凸帶文土器  | 深 | 鉢 | d5Ⅱ | 泥炭質層   | 2上            |   |
| 336 | 北白川          | C式 | 底   | 部  | c4Ⅳ | 黒色土    | 1下            | 386 | 凸帶文土器  | 深 | 鉢 | c3Ⅲ | 泥炭質層   | 2上            |   |
| 337 | 北白川          | C式 | 底   | 部  | c5Ⅰ | 黒色土    | 1下            | 387 | 黒色磨研   | 深 | 鉢 | c5Ⅰ | 泥炭質層   | 2上            |   |
| 338 | 東庄内A?        |    | 底   | 部  | c5Ⅰ | 黒色土    | 1下            | 388 | 滋賀里Ⅲb式 | 深 | 鉢 | c4Ⅳ | 泥炭質層   | 2上            |   |
| 339 | 北白川          | C式 | 底   | 部  | c5Ⅰ | 黒色土    | 1下            | 389 | 凸帶文土器  | 浅 | 鉢 | c5Ⅱ | 泥炭質層   | 2上            |   |
| 340 | 北白川          | C式 | 底   | 部  | c5Ⅰ | 黒色土    | 1下            | 390 | 凸帶文土器  | 深 | 鉢 | b4Ⅱ | 白色砂    | 4             |   |
| 341 | 北白川          | C式 | 底   | 部  | c5Ⅰ | 黒色土    | 1下            | 391 | 凸帶文土器  | 深 | 鉢 | b4Ⅱ | 白色砂    | 4             |   |
| 342 | 北白川          | C式 | 底   | 部  | c4Ⅳ | 黒色土    | 1下            | 392 | 凸帶文土器  | 深 | 鉢 | b4Ⅱ | 白色砂    | 4             |   |
| 343 | 北白川          | C式 | 底   | 明  | c4Ⅳ | 黒色土    | 1下            | 393 | 凸帶文土器  | 浅 | 鉢 | d5Ⅱ | 泥炭質層   | 2上            |   |
| 344 | 北白川          | C式 | 底   | 明  | c4Ⅳ | 黒色土    | 1下            |     |        |   |   |     |        |               |   |
| 345 | 北白川          | C式 | 底   | 明  | c4Ⅳ | 黒色土    | 1下            | 394 | 凸帶文土器  | 深 | 鉢 | c4Ⅲ | 泥炭質層   | 1上・<br>泥炭質層1下 |   |
| 346 | 北白川          | C式 | 底   | 深  | b5Ⅱ | 暗灰色砂質土 |               | 395 | 凸帶文土器  | 深 | 鉢 | b4Ⅰ | 泥炭質層   | 1上・<br>泥炭質層1下 |   |
| 347 | 滋賀里Ⅲb式       |    | 深   | 鉢  | d4Ⅳ | 白色砂    | 1             |     |        |   |   |     |        |               |   |
| 348 | 凸帶文土器        |    | 深   | 鉢  | d5Ⅰ | 泥炭質層   | 2上            | 396 | 凸帶文土器  | 深 | 鉢 | b4Ⅲ | 泥炭質層   | 1上・<br>泥炭質層1下 |   |
| 349 | 凸帶文土器        |    | 深   | 鉢  | c3Ⅲ | 泥炭質層   | 2上            |     |        |   |   |     |        |               |   |
| 350 | 凸帶文土器        |    | 深   | 鉢  | b4Ⅱ | 白色砂    | 4             | 397 | 凸帶文土器  | 深 | 鉢 | b4Ⅲ | 泥炭質層   | 1上・<br>泥炭質層1下 |   |
| 351 | 凸帶文土器        |    | 深   | 鉢  | b4  | 白色砂    | 4             |     |        |   |   |     |        |               |   |
| 352 | 凸帶文土器        |    | 深   | 鉢  | b4Ⅲ | 斜面黒褐色土 |               | 398 | 凸帶文土器  | 浅 | 鉢 | b4Ⅰ | 泥炭質層   | 1上・<br>泥炭質層1下 |   |
| 353 | 凸帶文土器        |    | 深   | 鉢  | b4Ⅲ | 斜面黒褐色土 |               |     |        |   |   |     |        |               |   |
| 354 | 凸帶文土器        |    | 深   | 鉢  | b4Ⅳ | 斜面黒褐色土 |               | 399 | 凸帶文土器  | 深 | 鉢 | b4Ⅰ | 泥炭質層   | 1上・<br>泥炭質層1下 |   |
| 355 | 凸帶文土器        |    | 深   | 鉢  | c5  | 斜面黒褐色土 |               |     |        |   |   |     |        |               |   |
| 356 | 凸帶文土器        |    | 深   | 鉢  | b5  | 斜面黒褐色土 |               | 400 | 凸帶文土器  | 深 | 鉢 | b4Ⅲ | 泥炭質層   | 1上・<br>泥炭質層1下 |   |
| 357 | 凸帶文土器        |    | 深   | 鉢  | b4Ⅲ | 白色砂    | 1             | 401 | 凸帶文土器  | 深 | 鉢 | b4Ⅰ | 泥炭質層   | 1上・<br>泥炭質層1下 |   |
| 358 | 凸帶文土器        |    | 浅   | 鉢  | c4Ⅳ | 泥炭質層   | 2上            | 402 | 滋賀里Ⅲb式 | 深 | 鉢 | b5  | 斜面黒褐色土 |               |   |
| 359 | 凸帶文土器        |    | 浅   | 鉢  |     | 斜面黒褐色土 |               | 403 | 凸帶文土器  | 深 | 鉢 | b4Ⅰ | 斜面黒褐色土 |               |   |
| 360 | 凸帶文土器        |    | 浅   | 鉢  | b4Ⅲ | 泥炭質層   | 2上            | 404 | 滋賀里Ⅲb式 | 深 | 鉢 | b4Ⅲ | 斜面黒褐色土 |               |   |
| 361 | 凸帶文土器        |    | 浅   | 鉢  | b4Ⅱ | 白色砂    | 1             | 405 | 凸帶文土器  | 浅 | 鉢 | b4Ⅰ | 斜面黒褐色土 |               |   |
| 362 | 凸帶文土器        |    | 浅   | 鉢  | c5Ⅰ | 泥炭質層   | 1下            | 406 | 凸帶文土器  | 浅 | 鉢 | b4Ⅲ | 斜面黒褐色土 |               |   |
| 363 | 弥生土器<br>第Ⅰ様式 |    |     |    | d5Ⅳ | 暗灰色砂質土 |               | 407 | 凸帶文土器  | 深 | 鉢 | b4Ⅰ | 斜面黒褐色土 |               |   |
| 364 | 滋賀里Ⅲb式       |    | 深   | 鉢  | c4Ⅲ | 泥炭質層   | 4             | 408 | 凸帶文土器  | 深 | 鉢 | b4  | 斜面黒褐色土 |               |   |
| 365 | 滋賀里Ⅲb式       |    | 深   | 鉢  | c5Ⅱ | 泥炭質層   | 3上~<br>泥炭質層4  | 409 | 凸帶文土器  | 深 | 鉢 | b4Ⅲ | 斜面黒褐色土 |               |   |
| 366 | 凸帶文土器        |    | 浅   | 鉢  | c5Ⅱ | 泥炭質層   | 3上~<br>泥炭質層4  | 410 | 凸帶文土器  | 深 | 鉢 | b4Ⅳ | 斜面黒褐色土 |               |   |
| 367 | 滋賀里Ⅲb式       |    |     |    | d5Ⅰ | 泥炭質層   | 3中            | 411 | 凸帶文土器  | 深 | 鉢 | b4Ⅲ | 斜面黒褐色土 |               |   |
| 368 | 凸帶文土器        |    | 深   | 鉢  | d4Ⅲ | 泥炭質層   | 2下            | 412 | 凸帶文土器  | 深 | 鉢 | b4Ⅲ | 斜面黒褐色土 |               |   |
| 369 | 凸帶文土器        |    | 深   | 鉢  | c5Ⅱ | 泥炭質層   | 2下            | 413 | 凸帶文土器  | 深 | 鉢 | b4Ⅱ | 斜面黒褐色土 |               |   |
| 370 | ——           |    | 沈線文 | 浅鉢 | c5Ⅱ | 泥炭質層   | 2下            | 414 | 滋賀里Ⅲb式 | 深 | 鉢 | d4Ⅳ | 暗灰色砂質土 |               |   |
| 371 | 凸帶文土器        |    | 深   | 鉢  | c5Ⅱ | 泥炭質層   | 2上~<br>泥炭質層2下 | 415 | 凸帶文土器  | 深 | 鉢 | d5Ⅱ | 泥炭質層   | 2上            |   |
| 372 | 凸帶文土器        |    | 深   | 鉢  | c5Ⅱ | 泥炭質層   | 2上~<br>泥炭質層2下 | 416 | 凸帶文土器  | 深 | 鉢 | b4Ⅲ | 泥炭質層   | 2上            |   |
| 373 | 凸帶文土器        |    | 深   | 鉢  | c4Ⅳ | 泥炭質層   | 2上~<br>泥炭質層2下 | 417 | 357と同じ |   |   |     |        |               |   |
| 374 | 凸帶文土器        |    | 深   | 鉢  | c5Ⅰ | 泥炭質層   | 2上            | 418 |        | 底 | 部 | d5Ⅰ | 泥炭質層   | 2下            |   |
| 375 | 凸帶文土器        |    | 深   | 鉢  | c5Ⅱ | 泥炭質層   | 2上            | 419 |        | 底 | 部 | c5Ⅰ | 泥炭質層   | 2上            |   |
| 376 | 凸帶文土器        |    | 深   | 鉢  | d5Ⅰ | 泥炭質層   | 2上            | 420 |        | 底 | 部 | c3Ⅳ | 泥炭質層   | 2上            |   |
| 377 | 凸帶文土器        |    | 深   | 鉢  | d5Ⅰ | 泥炭質層   | 2上            | 421 |        | 底 | 部 | d5Ⅰ | 泥炭質層   | 2上            |   |
| 378 | 凸帶文土器        |    | 深   | 鉢  | c4Ⅱ | 泥炭質層   | 2上            | 422 |        | 底 | 部 | b4Ⅳ | 泥炭質層   | 2下            |   |
| 379 | 凸帶文土器        |    | 深   | 鉢  | d5Ⅱ | 泥炭質層   | 2上            | 423 |        | 底 | 部 | b4Ⅲ | 斜面黒褐色土 |               |   |
| 380 | 凸帶文土器        |    | 深   | 鉢  | c5Ⅰ | 泥炭質層   | 2上            | 424 |        | 底 | 部 | b4Ⅰ | 斜面黒褐色土 |               |   |
|     |              |    |     |    |     |        |               | 425 |        | 底 | 部 | b4Ⅲ | 斜面黒褐色土 |               |   |
|     |              |    |     |    |     |        |               | 426 |        | 底 | 部 | b4Ⅲ | 斜面黒褐色土 |               |   |
|     |              |    |     |    |     |        |               | 427 |        | 底 | 部 | b4Ⅲ | 斜面黒褐色土 |               |   |
|     |              |    |     |    |     |        |               | 428 |        | 底 | 部 | b5Ⅱ | 白色砂    | 4             |   |

## 2 石 器(図版17・18, 図41~44)

石 鏃(429~435) 石鏃は7点ありすべてサヌカイト製である。1点が先端部を欠失する他は完形である。基部はいずれも凹形であるが1点は平基に近い。素材剥片の面は、先行剥離面と主剥離面を共に残すものが2点、先行剥離面だけを残すものが1点、主剥離面だけを残すものが2点、どちらも残さないものが2点ある。自然面を残すものはない。

石 錐(436) 1点ありサヌカイト製。錐部は短く顕著な磨滅は認められない。素材剥片の面は、先行剥離面、主剥離面がともに残る。自然面はない。

細部調整のある剥片(437~439) 細部調整があるが定形的な石器として定義できない剥片を細部調整のある剥片として一括する。サヌカイト製23点、青色のチャート製2点、赤色のチャート製1点の計26点である。ピース・エスキエと認定できるものが5点あり(438), いずれもサヌカイト製である。全体に小型のものが多。ピース・エスキエ以外の21点について細部調整のある縁辺別に細部調整の種類とその連続長をみたのが表7である。薄形深形細部調整が約半数を占めている。

剥 片 サヌカイト製27点、青色のチャート製2点、赤色のチャート製1点の計30点が出土した。横長剥片が10点に対し、縦長剥片は20点である。長さの計測が可能な28点について最大長(L)と最大幅(W)の比 $L/W$ をとると $1.69 \pm 0.67[40\%]$ (平均±標準偏差, [ ]内は変異係数), 剥離方向に対する最大長(LD)と最大幅(WD)の比 $LD/WD$ をとると,  $1.27 \pm 0.57[45\%]$ である。なお石核は出土していない。

切目石錘(448~458) すべて頁岩製で48点あり, うち完形品は34点である。完形品の属性を12・13地点で出土した切目石錐のうち完

表7 細部調整のある縁辺ごとの細部調整の属性(上段:縁辺数, 下段:連続長 mm)

| 角 度 | 深 度     |           |         | 合 計       |
|-----|---------|-----------|---------|-----------|
|     | 浅形      | 深形        | 侵形      |           |
| 平 形 | 1<br>5  | 2<br>20   |         | 3<br>25   |
| 薄 形 | 2<br>22 | 13<br>272 | 1<br>42 | 16<br>336 |
| 厚 形 | 1<br>17 | 6<br>142  |         | 7<br>159  |
| 極厚形 |         | 2<br>30   |         | 2<br>30   |
| 合 計 | 4<br>44 | 23<br>464 | 1<br>42 | 28<br>550 |

表8 切り目石錘の属性  
(上段:本調査区, 下段:12・13地点)

|       | 平均             | 標準偏差         | 変異係数      |
|-------|----------------|--------------|-----------|
| 長さ    | 56.9mm<br>57.8 | 12.0<br>11.1 | 21%<br>19 |
| 幅     | 35.5mm<br>35.7 | 6.1<br>6.2   | 17<br>17  |
| 厚さ    | 16.0mm<br>16.3 | 4.2<br>4.5   | 26<br>28  |
| 重さ    | 47.1g<br>46.8  | 24.1<br>20.2 | 51<br>43  |
| 長さ/幅  | 1.62<br>1.65   | 0.33<br>0.43 | 20%<br>26 |
| 長さ/厚さ | 3.78<br>3.80   | 1.36<br>1.16 | 36<br>31  |
| 幅/厚さ  | 2.36<br>2.37   | 0.70<br>0.77 | 30<br>32  |

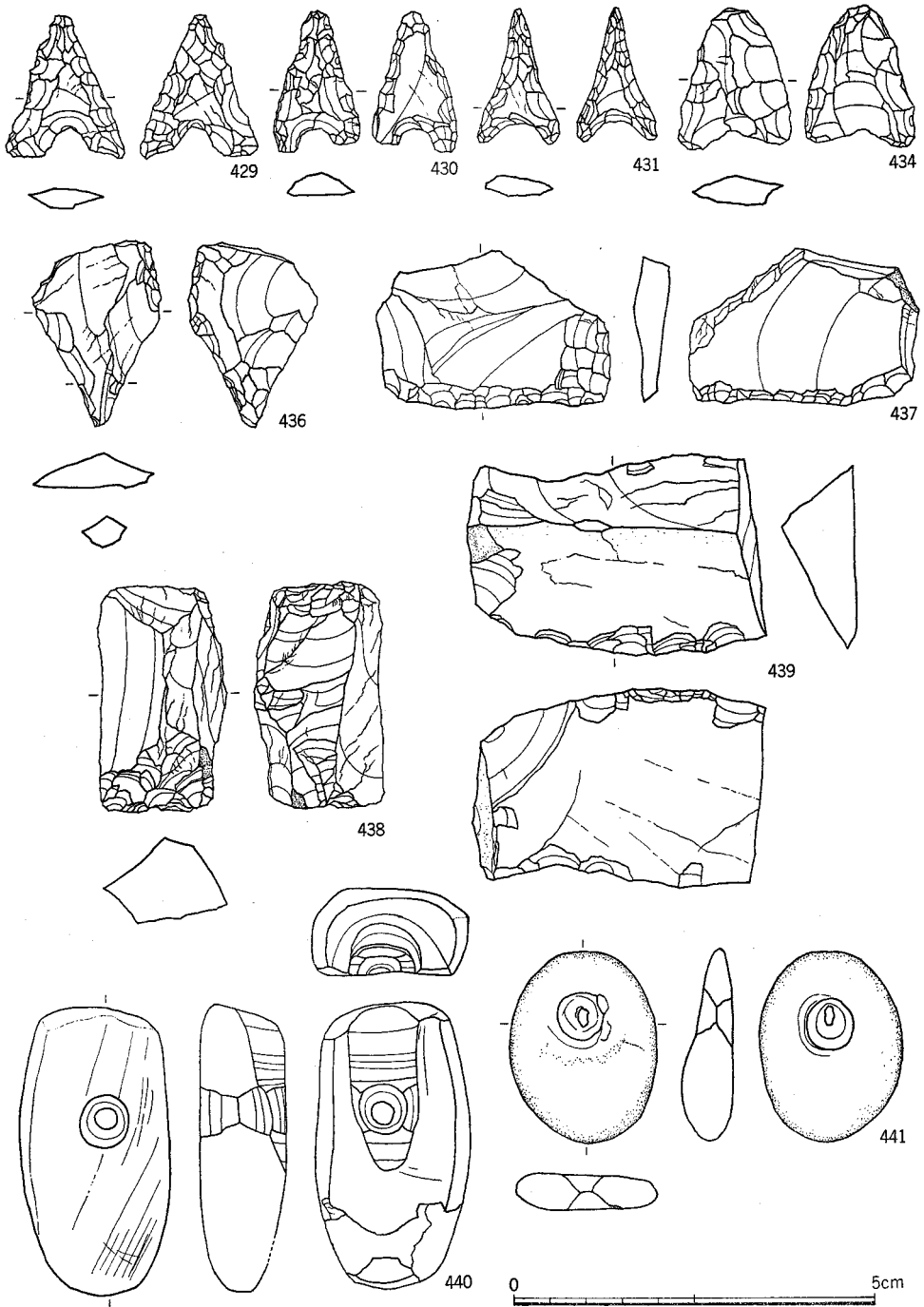


図41 石鏃(429～431・434), 石錐(436), ピエス・エスキエ(438), 細部調整のある剥片(437・439), 石製垂飾具(440・441)

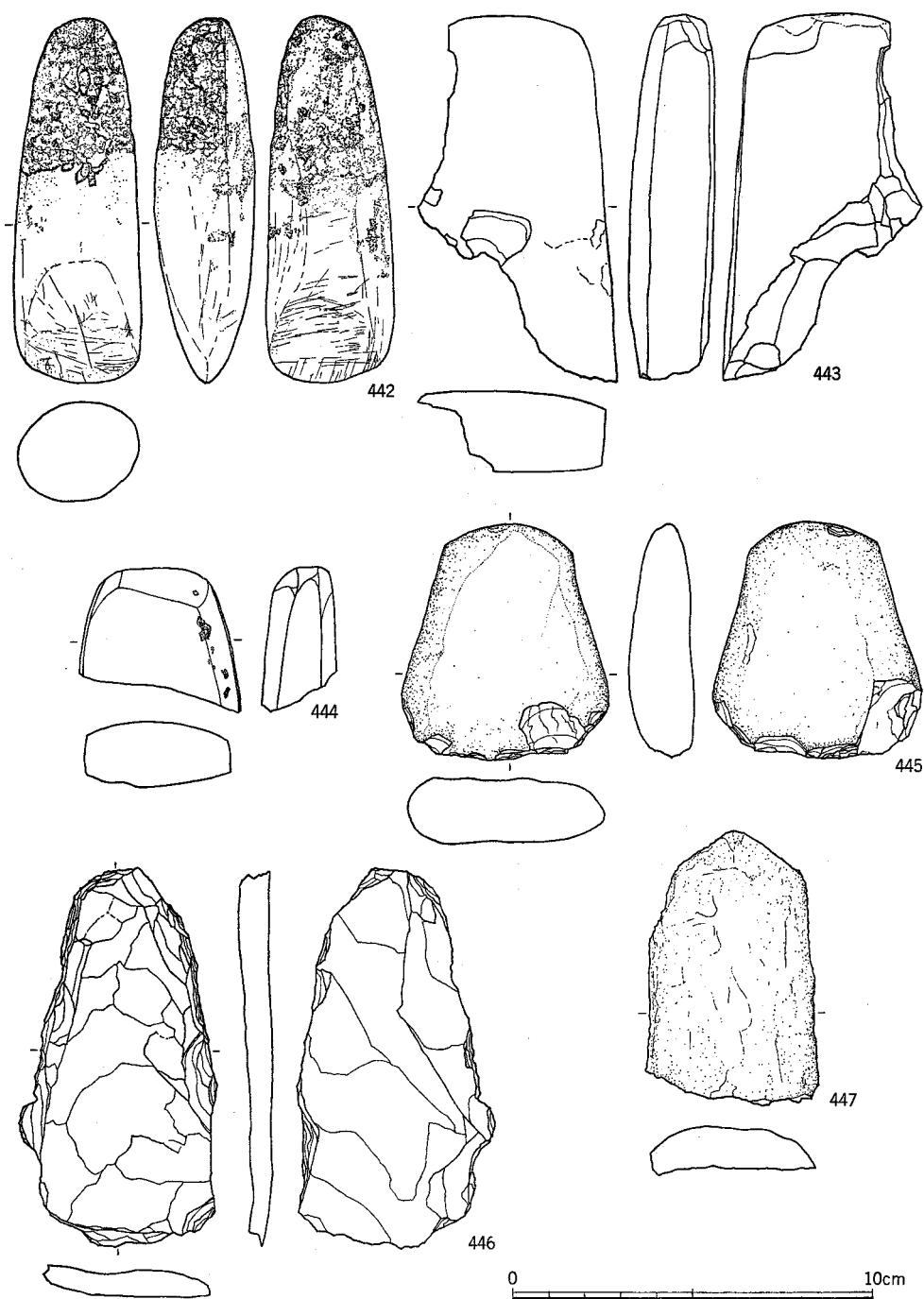


図42 磨製石斧(442~444), 敲石(445), 打製石斧(446), 石棒(447)

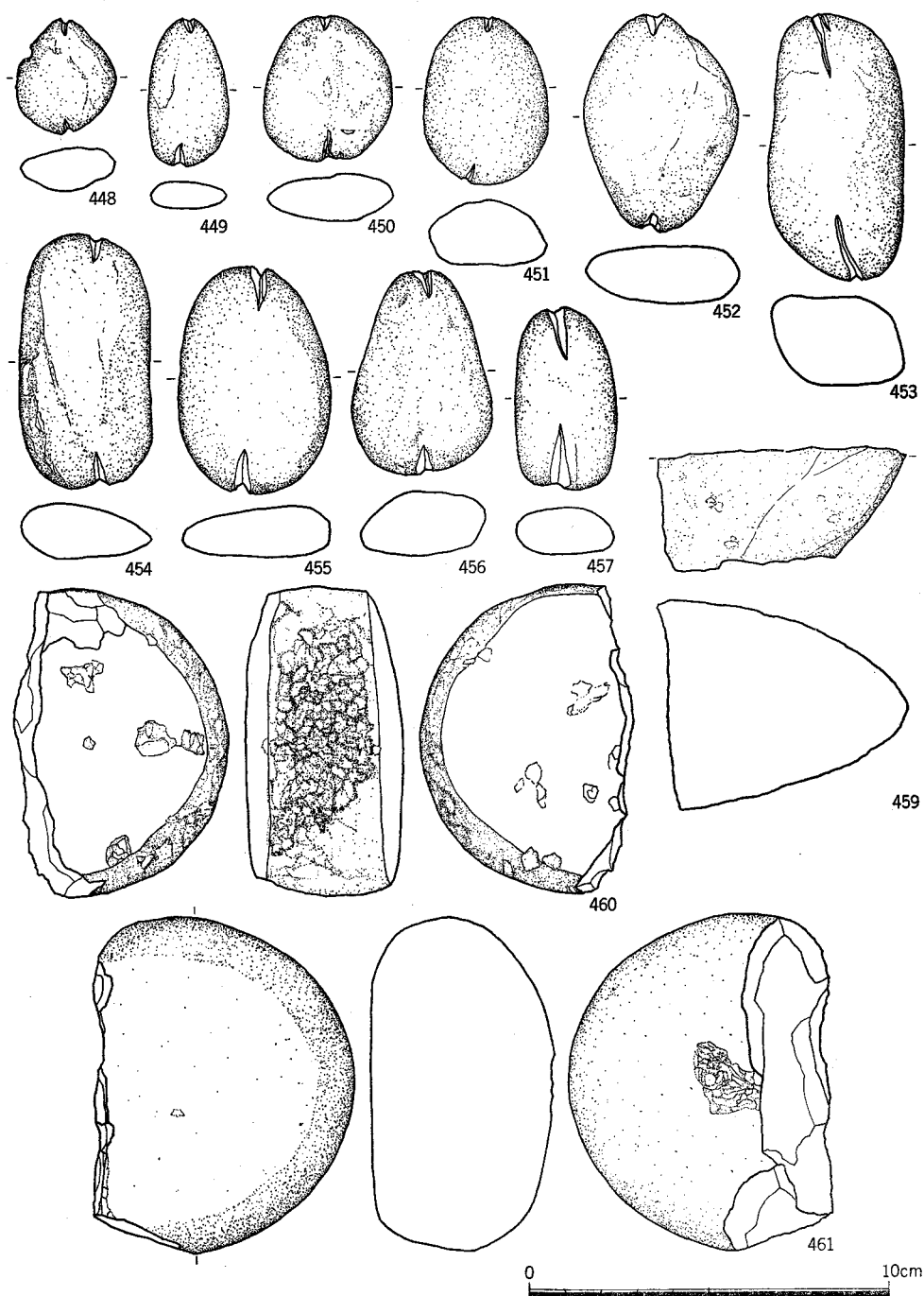


図43 切目石錘(448~457), 磨石(459~461)

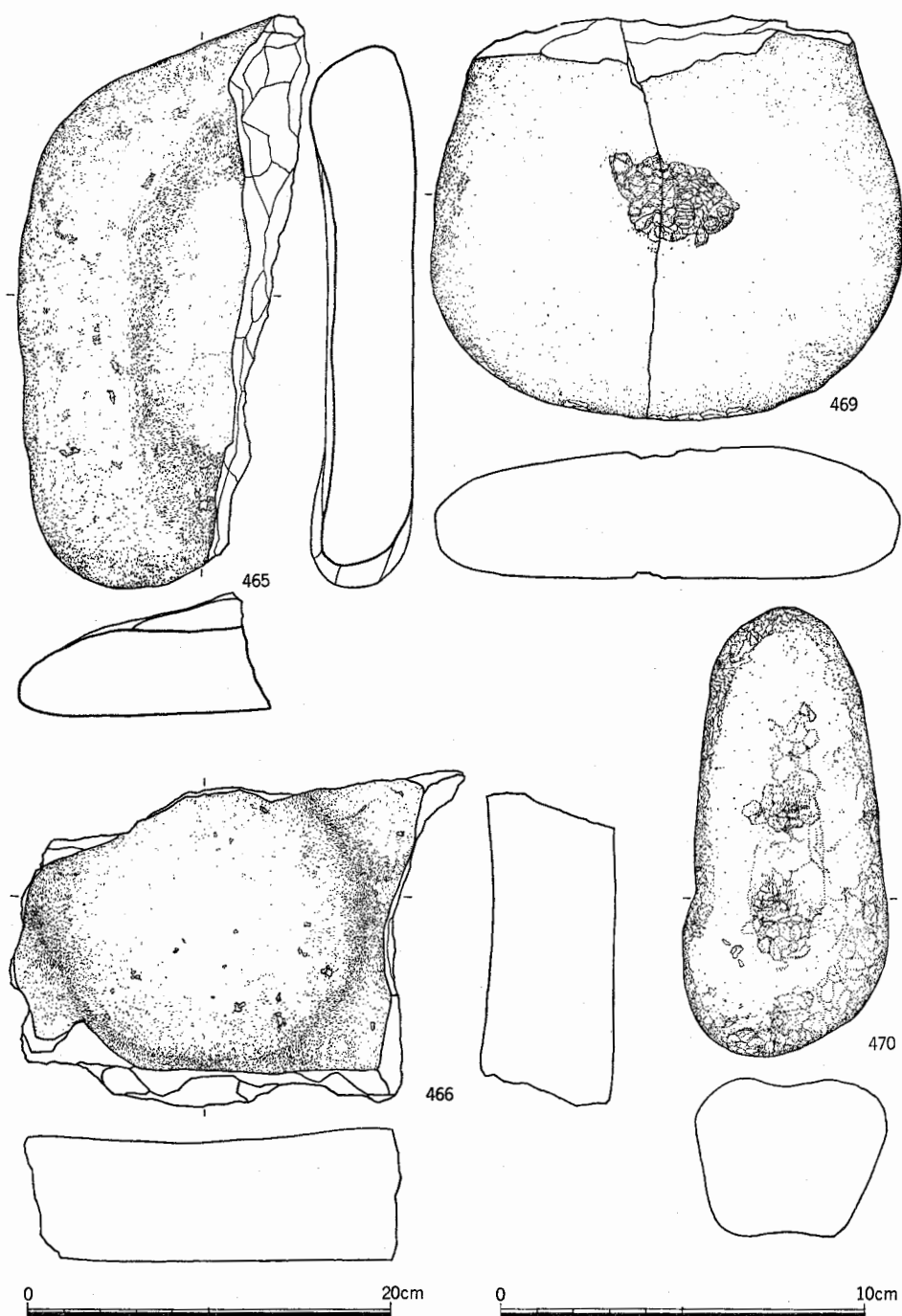


図44 石皿(465・466), 凹石(469・470) 466のみ縮尺 1/4

形で今回計測し得た60点の属性と比べたのが表8である。平均値で比べるとよく似ているが個体ごとのばらつきが大きく特に重さについては著しい。

石 斧 類(442~446) 442は橄欖岩製の乳棒状石斧で頭部に敲打整形の痕跡がよく残り

刃部には研磨時の線状痕の他に縦斧としての使用を示す線状痕が認められる。443・444は定角式石斧の頭部でともに蛇紋岩製である。両者とも表面は極めて平滑に仕上げている。446は頁岩製の打製石斧で薄く、頭部以外の整形は雑である。445は溶結凝灰岩製で敲石の一種と思われるが形が特異で一端の全長にわたって潰痕状の剝離面が両面に存在している。

石 皿(465~468) 465は小型で凹みを作り出しており花崗斑岩製である。他に大きくて部厚い平らな石の表面を平滑にしているものが11点あり、いずれも破片である。466はその中で最大で石英斑岩製。他は砂岩製が4点、玢岩製が2点、アプライト、黒色頁岩、ホルンフェルス、流紋岩製が各1点である。厚さは計測可能なものでは49~111mmである。

磨石・凹石・敲石(459~464, 469~472) 凹み、磨かれた面、突出部の潰れといった表面の状態は単独でも存在するし、いろいろに組み合わせられていることもあり個々の遺物を分類するのが困難となっている。そこで、片手で握れる程度の大きさの石で、凹み、磨面、潰れの少なくともひとつがみられるものを一括して扱う。丸餅形をしたものが19点で他の形をしたものは3点のみである。石材は多岐にわたっており、花崗岩製7点、砂岩製5点、花崗斑岩製3点、玢岩製2点、角閃石安山岩、安山岩、石英閃緑岩、閃緑岩、ホルンフェルス製が各1点である。表面の状態ごとの点数を表9に示す。

石 棒(447) 三波川変成帯の曹長石石墨白雲母片岩製の小破片である。

石製垂飾具(440・441) 440は滑石製で1孔が貫通し、上端から片面中央部まで溝をつけている。表面には整形時の線状痕が残る。一部欠損している。441は砂岩の礫を利用し1孔を有するが孔中央部のエッジは鋭いままになっている。

これらの他に自然礫の中で玄武岩製の焼け礫の破片が21点あり、母岩数は3~4点で2例の接合例を含んでいる。

表9 凹石・磨石・敲石の点数

| 磨面 | 溝痕 | 凹みを有する面の数 |   |   |   |
|----|----|-----------|---|---|---|
|    |    | 0         | 1 | 2 | 3 |
| 有  | 有  | 4         |   |   |   |
| 有  | 無  | 3         | 2 |   |   |
| 無  | 有  | 3         | 1 | 3 |   |
| 無  | 無  |           |   | 5 | 1 |

(森本 晋)

表10 石器の出土地区と層位

| 番号  | 種 別       | 石 材            | 地 区     | 層 位      | 長さ<br>(mm) | 幅<br>(mm) | 厚さ<br>(mm) | 重さ<br>(g) |
|-----|-----------|----------------|---------|----------|------------|-----------|------------|-----------|
| 429 | 石鏃        | サヌカイト          | c 5     |          | 20         | 12        | 3.1        | 0.8       |
| 430 | 石鏃        | サヌカイト          | c 4IV   |          | 19         | 12        | 3.3        | 0.6       |
| 431 | 石鏃        | サヌカイト          | c 5 II  | 泥炭質層 2 下 | 19         | 12        | 2.9        | 0.4       |
| 432 | 石鏃        | サヌカイト          | c 4 I   | 泥炭質層 1 下 | 20         | 14        | 2.1        | 0.5       |
| 433 | 石鏃        | サヌカイト          | c 4IV   |          | (20)       | 13        | 2.7        | (0.5)     |
| 434 | 石鏃        | サヌカイト          | c 5 II  | 泥炭質層 2   | 19         | 16        | 3.8        | 1.0       |
| 435 | 石鏃        | サヌカイト          | c 5 III | 白色砂 6    | 19         | 15        | 4.0        | 0.9       |
| 436 | 石錐        | サヌカイト          |         |          | 26         | 18        | 6.2        | 1.8       |
| 437 | 細部調整のある剥片 | サヌカイト          | c 5 II  |          | 32         | 22        | 4.3        | 3.6       |
| 438 | ビエス・エスキュ  | サヌカイト          | c 4IV   | 黒色土 1 中  | 31         | 17        | 12.0       | 7.6       |
| 439 | 細部調整のある剥片 | チャート           |         |          | 41         | 27        | 12.2       | 14.1      |
| 440 | 垂飾具       | 滑石             | c 5 I   | 黒色土 1 中  | 40         | 21        | 12.3       | (16.3)    |
| 441 | 垂飾具       | 砂岩             | c 5 II  | 泥炭質層 4   | 27         | 20        | 7.2        | 4.2       |
| 442 | 乳棒状石斧     | 橄欖岩            | c 5 II  | 泥炭質層 2 上 | 102        | 36        | 28         | 165       |
| 443 | 定角式石斧     | 蛇紋岩            |         |          | (102)      | (52)      | 23         | (170)     |
| 444 | 定角式石斧     | 蛇紋岩            | c 5 I   | 白色砂 8    | (41)       | (45)      | (20)       | (50)      |
| 445 | 敲石        | 溶結凝灰岩          | b 4     |          | 66         | 58        | 18         | 95        |
| 446 | 打製石斧      | 頁岩             | d 5 I   | 泥炭質層 2 上 | 105        | 55        | 10         | 61        |
| 447 | 石棒        | 曹長石石墨<br>白雲母片岩 | c 5     |          | (77)       | (48)      | (13)       | (62)      |
| 448 | 切り目石錘     | 頁岩             | b 4 III | 黒色土 1    | 32         | 27        | 14         | 17        |
| 449 | 切り目石錘     | 頁岩             | c 4     | 青灰色細砂    | 42         | 23        | 8          | 12        |
| 450 | 切り目石錘     | 頁岩             | c 4IV   | 黒色土 1 下  | 40         | 36        | 15         | 25        |
| 451 | 切り目石錘     | 頁岩             | c 5 I   | 黒色土 1 中  | 47         | 34        | 19         | 42        |
| 452 | 切り目石錘     | 頁岩             | b 4     |          | 62         | 43        | 16         | 60        |
| 453 | 切り目石錘     | 頁岩             | c 5 I   | 黒色土 1 中  | 76         | 37        | 27         | 120       |
| 454 | 切り目石錘     | 頁岩             | c 5 I   | 黒色土 1 中  | 72         | 37        | 18         | 65        |
| 455 | 切り目石錘     | 頁岩             | c 4IV   | 黒色土 1 下  | 64         | 43        | 13         | 55        |
| 456 | 切り目石錘     | 頁岩             | c 5 II  | 黒色土 1 中  | 58         | 40        | 19         | 60        |
| 457 | 切り目石錘     | 頁岩             | b 4 III | 白色砂 4    | 51         | 28        | 14         | 31        |
| 458 | 切り目石錘     | 頁岩             | c 4IV   | 暗灰色砂質土   | 55         | 37        | 17         | 42        |
| 459 | 磨石        | 玢岩             |         |          | (66)       | (33)      | (58)       | (150)     |
| 460 | 磨石        | 花崗岩            | c 5 II  | 青灰色細砂    | (86)       | 58        | 45         | (372)     |
| 461 | 磨石        | 砂岩             | c 5 II  | 黒色土 1 中  | (93)       | (72)      | 53         | (505)     |
| 462 | 磨石        | 花崗岩            | c 4IV   | 青灰色細砂    | (92)       | (88)      | 70         | (716)     |
| 463 | 磨石        | 花崗岩            | c 4IV   | 黒色土 1 中  | (109)      | (56)      | 31         | (275)     |
| 464 | 磨石        | 花崗岩            | b 4 III | 黒色土 1    | (100)      | (49)      | 43         | (348)     |
| 465 | 石皿        | 花崗斑岩           | c 4IV   | 青灰色細砂    | (155)      | (70)      | (31)       | (45)      |
| 466 | 石皿        | 石英斑岩           | c 4 II  | 青灰色細砂    | (283)      | (196)     | (74)       | (5,740)   |
| 467 | 石皿        | 石英斑岩           | c 4 III | 青灰色細砂    | (49)       | (43)      | (52)       | (190)     |
| 468 | 石皿        | 砂岩             | c 4IV   | 黒色土 1 中  | (112)      | (50)      | (63)       | (513)     |
| 469 | 凹石        | 花崗斑岩           | c 4     | 青灰色細砂    | 130        | (108)     | 37         | (740)     |
| 470 | 凹石        | 角閃石安山岩         | c 4IV   | 黒色土 1 中  | 124        | 56        | 46         | 420       |
| 471 | 凹石        | 砂岩             | c 4IV   | 青灰色細砂    | 94         | 66        | 47         | 450       |
| 472 | 凹石        | ホルンフェルス        | b 4 II  | 泥炭質層 1・2 | 103        | 75        | 35         | 380       |